米に関するマンスリーレポート

（令和元年7月号）

「すぐ分かる米政策改革！」米政策の見直しについて解説する動画を公開しています！
http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_seisaku_kaikaku.html

【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

１．本レポートは、原則として公表２営業日前までの公表資料を反映しています。
２．本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

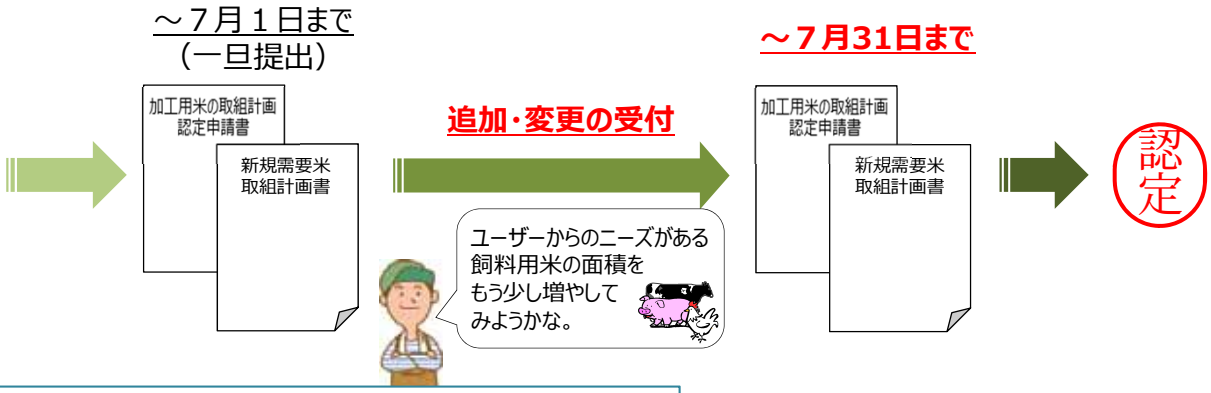
農林水産省

加工用米、新規需要米の取組計画書の追加・変更を７月末まで受け付けます

飼料用米、加工用米、米粉用米等実需者から安定供給が求められているところです。

このため、令和元年産においては、加工用米及び新規需要米の取組計画書の追加・変更について令和元年**７月31日まで受け付けます。**

【事務手続きの流れ】



「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」
別紙様式第3-2号の1　加工用米の取組計画認定申請書
別紙様式第4-1号　　新規需要米取組計画書

を提出し直す形で、追加・変更を申請

※ 7月1日以降に、加工用米又は新規需要米に新たに取り組むこととした場合も、申請可能です。

（様式掲載→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/jyukyu/komeseisaku/index.html）

【お問い合わせ先】

北海道農政事務所	011-330-8807
函館地域拠点	0138-38-9007
旭川地域拠点	0166-30-9303
釧路地域拠点	0154-99-9047
帯広地域拠点	0155-24-2402
北見地域拠点	0157-23-4172
東北農政局	022-221-6169
青森県拠点	017-777-3512
岩手県拠点	019-624-1125
宮城県担当	022-221-1105
秋田県拠点	018-862-5612
山形県拠点	023-622-7247
福島県拠点	024-534-4144
関東農政局	048-740-5257
茨城県拠点	029-221-2186
栃木県拠点	028-633-3314
群馬県拠点	027-221-1185
埼玉県担当	048-740-0100
千葉県拠点	043-224-5617
東京都拠点	03-5144-5258
神奈川県拠点	045-211-7176
山梨県拠点	055-254-6016
長野県拠点	026-234-5575
静岡県拠点	054-246-6121
北陸農政局	076-232-4302
新潟県拠点	025-228-5281
富山県拠点	076-441-9307
石川県担当	076-203-9140
福井県拠点	0776-30-1619
東海農政局	052-223-4623
岐阜県拠点	058-271-4407
愛知県担当	052-763-4552
三重県拠点	059-228-3199
近畿農政局	075-414-9020
滋賀県拠点	077-522-4275
京都府担当	075-414-9084
大阪府拠点	06-6941-9657
兵庫県拠点	078-331-9951
奈良県拠点	0742-36-2981
和歌山県拠点	073-436-3832
中国四国農政局	086-230-4251
鳥取県拠点	0857-22-3256
島根県拠点	0852-25-4490
岡山県担当	086-233-1577
広島県拠点	082-228-9483
山口県拠点	083-922-5255
徳島県拠点	088-622-6132
香川県拠点	087-883-6503
愛媛県拠点	089-932-6989
高知県拠点	088-875-2151
九州農政局	096-300-6214
福岡県拠点	092-281-8261
佐賀県拠点	0952-23-3135
長崎県拠点	095-845-7121
熊本県担当	096-300-6305
大分県拠点	097-532-6134
宮崎県拠点	0985-22-3184
鹿児島県拠点	099-222-5840
沖縄総合事務局	098-866-1653
農林水産省穀物課	03-6744-7135

各実需者団体から国に対して要請が出されています！

【全国加工米需要者団体協議会】

「令和元年産加工用米等原料米の安定供給の確保について（要請）」（抜粋）

令和元年６月２４日

○　各産地においては、近年の主食用米の販売価格の上昇を受け、加工用米から主食用米への切替え意欲が強いこと等により、私どもの需要希望数量は満たされない状況にあります。

○　このような状況を受けて、やむを得ずＭＡ米を使用する動きが加速しつつあります。

○　**現状では、私どもが必要とする加工用米の数量について結び付きを行うことが困難な状況です。**このようなことから、**加工用米の結び付きの拡大が図られるよう、国におかれましても、各産地において需要のある加工用米について安定的に取引を推進することの重要性等について説明していただきますようお願いします。**

【日本酒造組合中央会】

「國酒（日本産酒類）振興のための決議」（抜粋）　令和元年６月６日

○　国内振興への引き続きの支援及び輸出支援のためにも、**酒造好適米のみならず加工用米を含めた原料米の安価で安定的な供給体制の確保**

【協同組合日本飼料工業会】

「国産飼料用米の安定供給について（要請）」（抜粋）　令和元年６月２１日

○　本組合は、稲作生産者とも連携しつつ、国産飼料用米の積極的な活用に取り組んで参りました。

○　その結果、国産飼料用米については、配合飼料原料として一定の地位を確立しつつあり、輸入とうもろこしと同等以下の価格での安定確保は、畜産生産者・飼料メーカーにとって欠かせないものとなっております。

（要請事項）

- **国産飼料用米の生産が維持・拡大され、今後とも畜産生産者・飼料メーカーが安心して飼料用米を継続利用できるよう、産地や稲作生産者に対して安定供給の重要性を説明するとともに、更なる積極的な取組を促すこと。**
- 稲作生産者が安心して国産飼料用米の生産に取り組めるよう国の支援を安定的に継続すること。
- 国産飼料用米の生産・利用が拡大するような支援策を拡充すること。

【日本米粉協会】

「米粉用米の安定供給の確保について（要請）」（抜粋）　令和元年６月２０日

○　近年、米粉市場は、大手製パン企業による米粉入りパン製造の増加、アレルギー対応食品市場の活発化などにより、拡大しています。

○　先月公表された第２回中間的取組状況によれば、第１回公表時よりも米粉用米の取組を減らす産地が増加しており、このまま推移すると、順調に増加している需要量と生産量の乖離がさらに拡大し、米粉製造企業の経営に支障が生じかねない状況となっています。

○　国は産地に対して、**米粉用米の安定取引の重要性等を説明するとともに、米粉用米の供給を安定的に行うために必要な生産者と米粉製造企業の結びつけを拡大するため、十分な推進期間を確保して頂きますようお願いします。**

JA等の集荷業者の皆様へ

令和元年産に向けた「備蓄米」の運用改善について

～農業者別結び付け要件の見直しの追加～

備蓄米は、不作により供給が減少する事態等に備えて蓄えておく、**国民にとって重要な役割のあるお米**です。このため、**産地がより取り組みやすくなるよう元年産に向けて以下の改善**を行っています。

追加措置 今般、**さらに備蓄米を推進するため、農業者別の結び付け要件を不要**とする見直しを追加します。

① 優先枠の拡大

- 入札における産地ごとの**優先枠※を大幅に拡大**しました。
- さらに、産地は元年産の落札実績を**２年産から４年産まで優先枠として維持**することができます。

これにより、元年産の備蓄米にしっかり取り組めば、今後も他産地と競合することなく、継続的・安定的に備蓄米に取り組むことが可能です。

※ 「優先枠」とは、各都道府県別に入札枠を設け、他産地と競合することなく優先的に入札できるようにする仕組み。このため、産地では備蓄米の安定的な取組みが可能。

② 国への引渡時期について

- **収穫後、速やかな国への引き渡しが可能**※となります。

これにより、産地での保管管理経費などが軽減され、国からの保管料も産地の倉庫などに早期に支払われることとなります。

※ 最速で９月から国への引き渡しが可能。

追加措置 ③ 農業者別結び付け要件（農業者別引渡数量報告）の廃止

- 第５回目入札（4/16実施）より、**JA等の集荷業者(売渡人)から国に対する備蓄米の農業者別引渡数量の報告を必要としない**※こととします。

これにより、個々の農業者の同意を得なくてもJA等の集荷業者(売渡人)の自主的な判断で備蓄米への入札や国への引き渡しが可能となります。

※１ なお、地域農業再生協議会別の備蓄米の取組面積を把握する必要があることから、地域農業再生協議会別の備蓄米引渡予定数量(農業者別の数量ではありません)の報告をしていただくこととなります。

※２ 第４回目までに落札したJA等の集荷業者(売渡人)の方も、国との契約締結段階で協議させていただくことで、第５回目以降と同様の取扱いが可能となります。

○問い合わせ先 農林水産省政策統括官付農産企画課米穀需給班
代表：03-3502-8111（内線4975） 直通：03-6738-8973

令和元年産備蓄米の政府買入入札
第１０回（7月１７日実施予定）の買入予定数量

備蓄米の政府買入予定数量		20万9千トン
	うちCPTPP分	9千トン

（単位：トン）

都道府県別優先枠（第10回）		26,206
	北海道	1,686
	秋　田	6,656
	山　形	7,988
	新　潟	2,617
	富　山	4,534
	福　井	386
	愛　知	1,030
	滋　賀	312
	鳥　取	243
	岡　山	701
	長　崎	19
	熊　本	34
一般枠（指定なし）（※）		0

（※1）第10回入札においては、都道府県別優先枠及び一般枠を設けることとする。
（※2）第10回入札の一般枠の数量は、当該回入札での都道府県別優先枠の落札残数量の合計とする。
（※3）第10回入札において都道府県別優先枠の買入予定数量を超えて応札された数量については、一般枠への応札とみなす。
（※4）第10回入札においては、全ての売渡申込資格者が一般枠へ応札することができる。

第9回までの政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果については2頁参照。

令和元年産米等の作付意向について
【第２回中間的取組状況（平成31年４月末現在）】

都道府県別の作付意向（平成31年２月末現在）を第１回中間的取組状況として３月に公表を行ったところですが、この度、第２回中間的取組状況として、都道府県別に加え、地域農業再生協議会別の４月末現在の作付意向を公表します。

都道府県別の作付意向（平成31年4月末現在）

・　第１回中間的取組状況（２月末現在）と比較すると、主食用米では対前年で減少傾向にある県の数は増加（減少６県→15県）しているものの、全体としては前年並みが見込まれます。一方、備蓄米では対前年で増加傾向にある県の数は大幅に増加（※）（増加20県→30県）しています。また、戦略作物については、飼料用米（増加12県→６県）、加工用米（増加15県→12県）では対前年で増加傾向にある県の数は減少しています。

・　主食用米の消費量が毎年約10万トン減少すると見込まれる中、需要に応じた生産・販売に一層取り組むことが重要です。

（※）第７回までの落札合計数量17万７千トン（対前年５万４千トン増）

（1）各都道府県の主食用米の作付意向
平成30年産実績と比較すると以下のとおりと見込まれています。
増加傾向０県／前年並み傾向32県／減少傾向15県

（2）各都道府県の戦略作物等の作付意向
平成30年産実績との比較による各都道府県の戦略作物等の作付意向は、以下のとおりと見込まれています。

ア. 備蓄米
増加傾向30県／前年並み傾向１県／減少傾向１県

イ. 飼料用米
増加傾向６県／前年並み傾向11県／減少傾向28県

ウ. 加工用米
増加傾向12県／前年並み傾向13県／減少傾向18県

エ. WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）
増加傾向11県／前年並み傾向15県／減少傾向17県

オ. 米粉用米
増加傾向18県／前年並み傾向８県／減少傾向18県

カ. 新市場開拓用米（輸出用米等）
増加傾向23県／前年並み傾向９県／減少傾向４県

キ. 麦
増加傾向16県／前年並み傾向18県／減少傾向12県

ク. 大豆
増加傾向11県／前年並み傾向14県／減少傾向20県

（注）「麦」「大豆」については、二毛作面積を含む。

※ 地域農業再生協議会別の作付意向の詳細については、以下のURLを御覧下さい。
http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/s_taisaku/190528.html

令和元年産米等の第２回中間的取組状況（平成31年4月末現在）

都道府県	主食用米		備蓄米		戦略作物															
					飼料用米		加工用米		WCS		米粉用米		新市場開拓用米（輸出用米等）		麦		大豆	
	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）	30年産実績（ha）	元年産の意向（対前年実績）
全国計	138.6万		21,606		79,535		51,490		42,545		5,295		3,578		169,513		115,148	
北海道	98,900	↘	－	↗	1,841	↗	4,547	↗	540	↗	57	↘	537	↘	32,501	↗	19,134	↘
青森	39,600	↘	2,770	↗	5,434	↘	1,726	↘	662	↘	5	↘	112	↗	667	↘	4,556	↘
岩手	48,800	↘	47	↗	3,986	↘	1,199	↗	1,620	→	58	↘	171	↗	3,379	→	3,748	↘
宮城	64,500	→	1,404	↗	5,553	↘	1,107	↘	2,006	→	68	→	213	↗	2,162	↗	10,198	↗
秋田	75,000	→	2,393	↗	1,993	↘	9,786	↘	1,229	↘	233	↗	252	→	309	↘	7,835	→
山形	56,400	→	3,508	↗	3,704	↘	4,141	↗	908	↗	136	↘	226	↗	79	↘	4,839	↘
福島	61,200	↘	3,170	↗	5,275	↘	439	↘	1,052	↘	2	↘	38	↗	207	↗	885	↘
茨城	66,800	→	122	↗	8,003	↘	1,260	→	550	↘	39	↘	224	↗	4,718	↘	2,335	↘
栃木	54,700	→	1,046	↗	9,155	↘	2,023	→	1,626	↘	604	↗	54	→	10,900	↘	2,176	↘
群馬	13,700	→	2	↗	1,243	↘	1,480	→	519	↗	324	↘	3	↗	6,679	↗	122	↗
埼玉	30,800	→	38	↗	1,669	↘	296	→	120	↘	618	↗	12	↗	4,752	→	433	↗
千葉	53,900	↘	120	↗	4,379	↘	1,583	→	984	↘	44	↘	19	↗	557	↗	581	↗
東京	133	→	－	-	－	-	－	-	－	-	0	→	－	-	－	-	－	-
神奈川	3,080	→	－	-	13	→	－	-	－	-	－	-	－	-	7	→	9	→
新潟	104,700	→	2,677	↗	2,908	↘	7,851	↘	386	↘	1,932	↘	866	↘	185	↗	4,310	↘
富山	33,300	↘	2,086	↗	1,229	↗	1,549	↘	405	→	78	↗	219	↗	3,309	↘	4,684	↘
石川	23,200	↘	875	↗	645	↘	795	↘	87	↘	71	↗	163	↘	1,091	→	1,208	↘
福井	23,600	↘	469	↗	1,217	↘	741	→	102	↘	91	↗	117	↗	4,781	↘	1,760	→
山梨	4,820	→	－	-	16	→	78	↘	12	↗	3	↗	0	→	61	↘	117	↘
長野	31,300	→	44	↗	267	→	745	↘	240	→	23	↘	61	→	2,336	↗	1,420	↗
岐阜	21,500	→	48	↗	2,347	↘	934	↗	208	↘	27	→	49	↗	3,405	→	2,811	→
静岡	15,700	→	－	↗	1,139	↘	104	↗	217	↗	10	→	2	→	732	→	156	→
愛知	26,700	→	79	↗	1,449	↘	668	→	193	↘	63	→	21	→	5,408	↗	4,116	→
三重	27,100	→	－	↗	1,691	→	249	→	239	→	86	→	43	↗	6,391	↗	4,284	→
滋賀	30,100	→	200	↗	941	→	1,188	↘	255	↘	31	↘	80	↗	7,672	↘	6,439	↘
京都	13,900	→	－	-	122	↗	512	↗	107	↗	6	↘	12	↗	251	→	247	↘
大阪	5,000	↘	－	-	6	→	0	→	－	-	4	→	－	-	3	→	5	→
兵庫	35,500	→	－	-	281	↗	639	↘	787	→	26	↗	6	↘	2,291	↗	2,019	↗
奈良	8,530	→	－	-	43	↘	15	→	44	→	30	↘	－	-	107	→	51	→
和歌山	6,430	→	－	-	3	↘	－	-	2	↘	－	-	－	-	1	↘	15	↘
鳥取	12,700	→	67	↘	794	↘	18	↘	359	↗	0	↗	－	-	130	↘	668	↘
島根	17,200	↘	14	↗	983	↘	242	↗	533	↗	2	↗	0	↗	583	→	577	↗
岡山	29,400	→	146	↗	1,254	↘	434	→	367	↘	65	↗	5	↗	2,805	↗	1,216	↗
広島	22,900	→	－	↗	441	→	350	→	562	→	112	↘	3	→	254	↗	343	→
山口	18,900	↘	－	-	874	↗	924	↗	305	↗	9	↗	1	→	1,842	↗	829	↘
徳島	11,200	↘	166	↗	543	↘	26	↘	217	↘	15	→	20	↗	120	↗	22	↘
香川	12,500	↘	－	-	131	→	42	↘	111	↘	7	↘	－	-	2,605	↗	52	↗
愛媛	13,900	→	－	-	319	↘	36	→	135	↗	4	↗	6	↗	1,918	→	322	↗
高知	11,400	→	2	→	944	→	58	↘	228	→	18	↘	－	-	9	→	69	↘
福岡	34,900	→	33	↗	2,033	↗	243	↘	1,500	→	183	↗	9	→	21,295	↗	8,263	↗
佐賀	24,000	↘	41	↗	584	→	267	↗	1,399	↗	9	↗	4	↗	20,541	→	7,894	↘
長崎	11,400	→	－	-	131	↘	10	↘	1,204	→	6	↘	－	-	1,189	→	354	→
熊本	32,300	→	18	↗	1,269	↘	754	↘	7,748	→	161	↗	20	↗	6,402	→	2,084	→
大分	20,600	→	17	↗	1,428	↘	101	↗	2,451	→	17	↘	－	-	4,648	↘	1,473	→
宮崎	14,700	↘	－	-	433	→	1,360	↗	6,682	→	17	↗	10	↗	121	→	218	→
鹿児島	18,300	→	－	-	822	↘	967	↗	3,645	→	1	↗	－	↗	109	→	271	↘
沖縄	716	→	－	-	－	-	－	-	－	-	－	-	－	-	0	→	－	-

（注1） 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「令和元年産の意向（対前年実績）」は、平成30年産作付実績と比較し、「↗：増加傾向」、「→：前年並み傾向」、「↘：減少傾向」で分類。
（注2） 主食用米の「30年産実績（ha）」は、平成30年12月10日統計部公表の主食用作付面積。
（注3） 飼料用米、加工用米、WCS、米粉用米、新市場開拓用米の「30年産実績（ha）」は、平成30年産新規需要米の取組計画認定面積。麦・大豆の「30年産実績（ha）」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積で、二毛作を含む。
（注4） 備蓄米の「30年産実績（ha）」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

令和元年産水稲の生育状況（令和元年7月1日現在）

- 各道県から公表された令和元年産水稲の生育状況を見ると、主産地ではおおむね草丈、葉数、茎数が「平年並み～多い」状況となっている。

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋） 平年に対する遅速等
北海道	（生育）	（全道）生育は、やや早く進んでいる。（北海道農政部　6月15日現在） （空知）生育・やや進んでおり、分げつ・発生も良好である。（空知総合振興局　6月15日現在） （石狩）生育は平年に比べて早い。好天により、分げつ発生は順調である。（石狩振興局　6月15日現在） （後志）草丈は長い。葉数は多い。茎数は多い。生育遅速日数は5日早い。（後志総合振興局　6月15日現在） （胆振）生育は平年並み。（胆振総合振興局　6月15日現在） （日高）生育は平年に比べ2日早く順調である。（日高振興局　6月15日現在） （渡島）好天により生育は進んでおり、分げつの発生も順調。（渡島総合振興局　6月15日現在） （檜山）生育は平年より早い。（檜山振興局　6月15日現在） （上川）生育の遅速は、平年並に推移している。（上川総合振興局　6月15日現在） （留萌）生育は早く進んでいる。（留萌振興局　6月15日現在） （オホーツク）生育は平年よりやや進んでいる。（オホーツク総合振興局　6月15日現在）
青森	（生育）	（6月20日現在の生育状況） ・黒石の6月20日現在の生育状況は、「つがるロマン」は草丈が38.4cmで平年より2.1cm高く、 株当たりの茎数は15.7本で平年よりも1.8本少なく、葉齢は7.8葉で平年より0.2葉多かった。 「青天の霹靂」は草丈が37.2cmで平年よりも1.9cm短く、株当たりの茎数は15.0本で平年より1.7本少なく、 葉齢は7.2葉で平年より0.1葉多かった。 ・十和田の6月20日現在の「まっしぐら」の生育状況は草丈が43.4cm、株当たりの茎数は376本だった。 （（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所　6月24日付）
岩手	（生育）	(6月25日現在) ・農業研究センター（北上） 全品種とも、草丈、葉齢、葉色（ＳＰＡＤ値）は平年を上回っており、茎数は概ね平年並みとなっている。 ・県北農業研究所（軽米） 「いわてっこ」では、草丈、茎数、葉齢、葉色（ＳＰＡＤ値）とも平年を下回っている。 （岩手県農業研究センター　6月27日付）
宮城	（生育）	(6月20日現在) ・県全体の水稲の生育は、葉数（平年差＋0.3 枚）から見ると平年に比べて２日程度早くなっており、 草丈は35.4 ㎝(平年比98%)，１㎡当たり茎数は432 本(平年比109%)，葉色はGM値※1 が42.4 （平年差＋0.1）となっている。　　（宮城県　6月21日付）
秋田	（生育）	（平　鹿）6月２５日現在の水稲定点調査（あきたこまち11か所）では、草丈33.1㎝（平年比94%）、 茎数325本/㎡（同比98%）、葉数8.5葉（同差+0.3葉）となっている。(6月28日付) （由　利）6月25日の水稲定点調査結果（３品種・移植８か所平均）によると、草丈は36.9cmで平年よりやや短く （平年比98%）、㎡あたり茎数は460本で平年よりやや多く（平年比102%）、葉数は8.7葉と平年並み （平年差+0.2葉）。(6月28日付) (山　本）6月25日現在の水稲定点調査ほ（管内９地点、品種：あきたこまち）における生育状況は、 草丈34.3cm（平年比95%）茎数463本/㎡（同比122%）、葉数8.8葉（同差＋0.2）、 葉色45.2（同比103%）となっている。（6月28日付） （仙　北）6月25日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、草丈が36.1cm（平年比96%）、 茎数は552本/㎡（平年比138%）葉数は9.0葉（平年差＋0.7葉）、葉緑素計値は43.7（平年差－0.2ポイント）。 (6月28日付) （鹿　角）6月25日の水稲定点生育調査では、草丈が34.2cmで短く（平年比92%）、㎡当たり茎数は505本でやや多く （平年比104%）、葉数は8.6葉で並（平年差-0.1葉）、葉色はSPAD値で45.9と並（平年比101%）（6月28日付） （秋田県農林政策課）
山形	（生育）	・6月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、草丈、葉数、葉色は平年並み、茎数は平年より多い状況である。 （山形県　6月26日付） ・6月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、茎数は多く、草丈、葉数、葉色は平年並となっている。 （山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部　6月20日付） （最上）(6月20日調査) ・生育診断圃の調査結果では、全品種で草丈並からやや短く、茎数は並から多い状況。 一方で、茎数の増加が鈍っている圃場がみられる。（最上総合支庁農業技術普及課　6月21日付）
福島	（生育）	・6月4日現在の農業総合センターの生育調査では、本部（郡山）と浜地域研究所（相馬）の茎数が多く、 会津地域研究所（会津坂下）の茎数が少なくなっている。コシヒカリの主稈葉数からみた生育は、 本部（郡山）で平年並み、会津地域研究所（会津坂下）で平年より２日遅れ、浜地域研究所（相馬）で 平年より５日早まっている。　　（福島県　6月10日）
茨城	（生育）	（水戸市　5月1日移植） ・(対平年遅速）あきたこまちは3日程度遅い。コシヒカリ平年並。ふくまるは1日程度遅い。 ・（生育ステージ）　あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは最高分げつ期、ふくまるは幼穂形成期。 （水戸市　5月10日移植） ・(対平年遅速）コシヒカリは2日程度遅い。 ・(生育ステージ）　コシヒカリは最高分げつ期　　（茨城県農業総合センター　6月25日付） （龍ヶ崎市　4月26日移植） ・(対平年遅速）あきたこまちは4日遅い。コシヒカリは1遅い。ふくまるは3日遅い平年並。 ・（生育ステージ）　あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは節間伸長開始期、ふくまるは幼穂形成期。 （龍ヶ崎市　5月7日移植） ・(対平年遅速）あきたこまちは6日遅い。コシヒカリは1日遅い。 ・（生育ステージ）　あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは節間伸長開始期。　（茨城県農業総合センター　7月1日付）
栃木	（生育）	・早植栽培（品種：コシヒカリ） （6月21日調査結果）（全体の生育）（11か所平均：平年値ﾃﾞｰﾀ欠､及び生育不良地点除く） 草丈は平年並（平年比100%）、茎数はやや多く（105%）、葉齢は平年並、葉色は0.3淡い。 地域によりバラツキがあるが、葉齢から判断して生育は平年並と考えられる。 生育診断値（葉色×茎数）は　平年比99%で平年並である。（栃木県　6月24日付）
千葉	（生育）	・4月2 日に移植した「ふさおとめ」、「ふさこがね」は平年と比較して「並」～「やや早」と なっており幼穂形成期を迎えています。また、4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月19日頃 （平年より2日早い）から幼穂形成期を迎え、追肥時期となっている。 ・5月1日に移植した「コシヒカリ」は平年並みの6月2 日頃から幼穂形成期となる見込み。 なお、4月植え「コシヒカリ」の一部のほ場では、過繁茂で推移している。　　（千葉県　6月27日付）

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋） 平年に対する遅速等
新潟	（生育）	(6月20日現在) ・コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈が「並」、茎数が「多い」、葉数の進みが「やや早い」、葉色が「並」の状況で、生育は2日程度早い状況。 ・長岡市に設置した調査ほ場の早生品種つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきの茎数は、指標値に比べ、それぞれ「やや少ない」、「多い」、「多い」状況。　（新潟県　6月21日付） （佐渡）コシヒカリの生育は、茎数が過剰となっている。 （佐渡農業普及指導センター　6月20日付） （岩船）草丈：やや短、茎数：多（地域差・ほ場間差大）、 葉数の進み：並、葉色：並 （村上農業普及指導センター　6月20日付） （上越）「コシヒカリ」の生育は6月中旬の低温で鈍化し、現在は草丈やや長、葉数並となっている。 （上越農業普及指導センター　6月20日付） （南魚沼）（6月20日調査）草丈：並（ 36 ㎝〈103%〉）葉色：やや濃い（ SPAD 値 39.2〈+1.2〉） 茎数：やや多（ 354 本/㎡〈109%〉）　葉数：やや早い（ 8.1 葉〈+0.4〉） （南魚沼農業普及指導センター　6月21日付）
富山	（生育）	（本田での生育状況） ・てんたかく　平年に比べ、草丈、葉色は並み、茎数は多く、葉齢は0.3 葉多くなっている。　葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、茎数はかなり多くなっている。　幼穂形成期は、平年より２日早い6月27日頃と見込まれる。出穂期は、７月19日頃と見込まれる。 ・コシヒカリ　平年に比べ、草丈、葉色、葉齢は並み、茎数は多くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、茎数は多くなっている。　生育量（草丈×㎡茎数×葉色÷1000）の平均値は113 と平年に比べてやや大きく、また88 から147 とばらつきが大きくなっている。幼穂形成期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より１日程度早い７月11日頃と見込まれる。 ・てんこもり　平年に比べ、草丈、葉齢は並み、茎数は多く、葉色はやや淡くなっている。　葉齢を揃えて比較すると、草丈は平年並み、茎数は多く、葉色は淡くなっている。　幼穂形成期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より１日程度早い７月13 日頃と見込まれる。・富富富　前年に比べて、草丈はやや長く、茎数、葉齢、葉色は並みとなっている。　葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数は前年並み、葉色は前年よりやや淡くなっている。幼穂形成期は、今後平年並みの気温で推移した場合、前年より1 日程度早い７月12 日頃と見込まれる。 （富山県　農業技術課広域普及指導センター　6月25日付）
石川	（生育）	（本田の生育　6月24日調査） 1．出穂期（早生品種） 生育観測田における早生品種ゆめみづほで幼穂が確認されている（0.4～4㎜程度）。 ゆめみづほの出穂期は加賀地域で７月１７日頃と近年より２日程度早く、前年並、能登地域（羽咋～中能登）では７月２０日頃と近年より２～３日早く、前年並である。また、能登地域（奥能登～珠洲）の能登ひかりの出穂期は、平年及び前年並の７月２４日頃と思われる。 2．草丈 ゆめみづほは近年比106%（加賀地域105%、能登地域108%）とやや長い。コシヒカリは平年比102%（加賀地域100%、能登地域104%）と平年並。ひゃくまん穀は前年比117%（加賀地域119%、能登地域116%）と長い。 3．㎡当たり茎数 早生は茎数の増加が緩やかとなっており、前年並に最高分げつ期を迎えると予想される。ゆめみづほは、近年比113%（加賀地域116%、能登地域113%）と近年及び前年よりやや多い。コシヒカリは、平年比105%（加賀地域102%、能登地域108%）と平年並で前年よりやや多い。ひゃくまん穀は近年比132%（加賀地域109%、能登地域168%）と、加賀地域で近年並で前年より多く、能登地域で近年及び前年より多い。　（石川県農林総合研究センター　6月25日付）
福井	（生育）	・5月2日植えのハナエチゼンでは6月２５日（平年より２日早い）に幼穂形成期を迎えた。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会　6月27日付）
長野	（生育）	（農業試験場八重森圃場(標高348m)） ・移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」ともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。 ・移植後30日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」ともに葉数、茎数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。 いずれの品種においても生育の進展が平年、前年に比べても緩慢である。　（長野県農業試験場　6月21日現在） （標高1017m原村の原村試験地における水稲生育状況） ・移植後20日調査では、いずれの品種も主稈葉数が平年よりやや少なく、茎数が平年よりかなり少ない。 ・移植後30日調査では、いずれの品種も主稈葉数が平年並みで草丈が平年よりやや短く、茎数が平年よりかなり少ない。 （長野県農業試験場　6月26日現在）
滋賀	（生育）	(6月10日現在) ・5月上旬の気温がやや低く、強風による植え傷みもあり、初期の分げつはやや遅れたが、5月中旬～6月上旬の高温により、生育は旺盛になっている。(滋賀県　6月19日付)
兵庫	（育苗・田植）	（5月28日現在） ・県北　移植後、低温の日があり、本田での生育はやや遅れ気味である。 ・県南　苗の生育は順調である。　（兵庫県　6月3日付）
高知	（生育）	・早期稲 分げつ期。天候が安定していたため、生育は全般的に順調。 ・普通期稲 育苗～活着期。県全域で移植が始まっており、移植最盛期は各地区ともに5月第6半旬で、移植後の生育は概ね順調である。なお、嶺北の一部では湯水により、移植が遅れている地区がある。 （高知県病害虫防除所　6月6日付）
福岡	（育苗・田植）	・早期水稲（夢つくし、コシヒカリ）　生育は順調で有効茎が確保され、中干し時期となっている。4月下旬植えの出穂期は平年より2～3日早い7月中旬の見込み。 ・普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど）　5月中旬～6月上旬植えは、田植え後、高温で経過したため活着が良く 生育は順調。　降雨が少ないため、一部地域では、田植えが平年に比べて3日～1週間程度遅れている。麦収穫後でも田植えが始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。　（福岡県農林総合試験場　6月14日付）
宮崎	（生育）	（作物の生育状況）（６月中旬） ・ 早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。 （宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長　6月25日付）

本資料は、地方自治体等ホームページにより公表された令和元年産水稲の生育状況等の一部を（公社）米穀機構情報部において取りまとめたものです。

各情報の詳細については、以下ＵＲＬ(公社)米穀機構ホームページの「出所（原資料）」を参照願います。

ＵＲＬ；http://www.komenet.jp/documents/2019/190701_sakugara.pdf

米の生産、集荷、販売、実需者などの皆様へ

「米の安定取引に向けた取組」へのお願い

－産地と実需の結び付きによる安定的な取引関係の構築－

「需給・価格の安定」のために皆様へお願いしたい３つのこと

1　産地側から実需者側に直接販売するルートの拡大

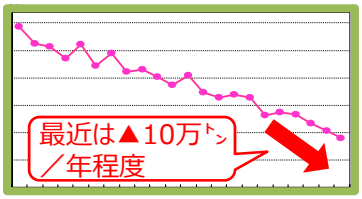
2　産地と実需者間での複数年契約等の事前契約の拡大

3　用途毎の品質や価格ニーズに対応するため、多収品種の導入等による生産コストの低減

米をめぐる現状

①　米の消費動向

・　我が国の主食用米の消費量は、今後、毎年「約10万トン」程度減少すると見込まれる



②　中食・外食事業者からの声

・　消費量が減少見込みの中、中食・外食向けの米の消費量は堅調に推移

・　一方、中食・外食事業者からは希望する価格帯での調達が難しくなったとの声

米消費における中食・外食割合

H9　18.9%

▼

H30　30.0%

③　新たな需要の拡大

・　米粉用や輸出用などの新たな需要が拡大する傾向

こうした状況の中で、今後とも米の需給及び価格の安定を図っていくためには、

①　**産地側が実需者側のニーズを的確に把握すること**

②　**産地側と実需者側がしっかりと結び付いた安定的な取引関係を構築すること**

が重要です。

上記３つの取組実施により、**全体での需給の均衡**と、**産地は「安定的な販路の確保」**、**実需者は「安定的な仕入れの確保」**が、それぞれ図られるものと考えられます。

農林水産省による取組支援

・　農林水産省としても、こうした取組を後押しするため、実需者と産地のマッチング支援や複数年契約の拡大、一般家庭用向け及び中食・外食向けの米の販売動向等の情報提供、各産地における多収性品種の導入等の取組の推進等に努めます。

実需者と産地のマッチングイベント「米マッチングフェア」への支援

「米に関するマンスリーレポート」での情報提供

○ 事前契約及び複数年契約数量

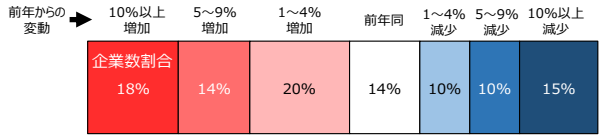
播種前時点での事前契約の状況を都道府県別に調査・公表

都道府県	令和元年産米（平成31年3月末現在）		平成30年産米（平成30年3月末現在）		対前年同月差	
	事前契約数量 ①	うち複数年契約 ②	事前契約数量 ③	うち複数年契約 ④	事前契約数量 ①-③	うち複数年契約 ②-④
北　海　道	153.7	153.7	133.6	133.6	20.0	20.0
青　　森	10.2	10.2	35.0	35.0	▲24.8	▲24.8

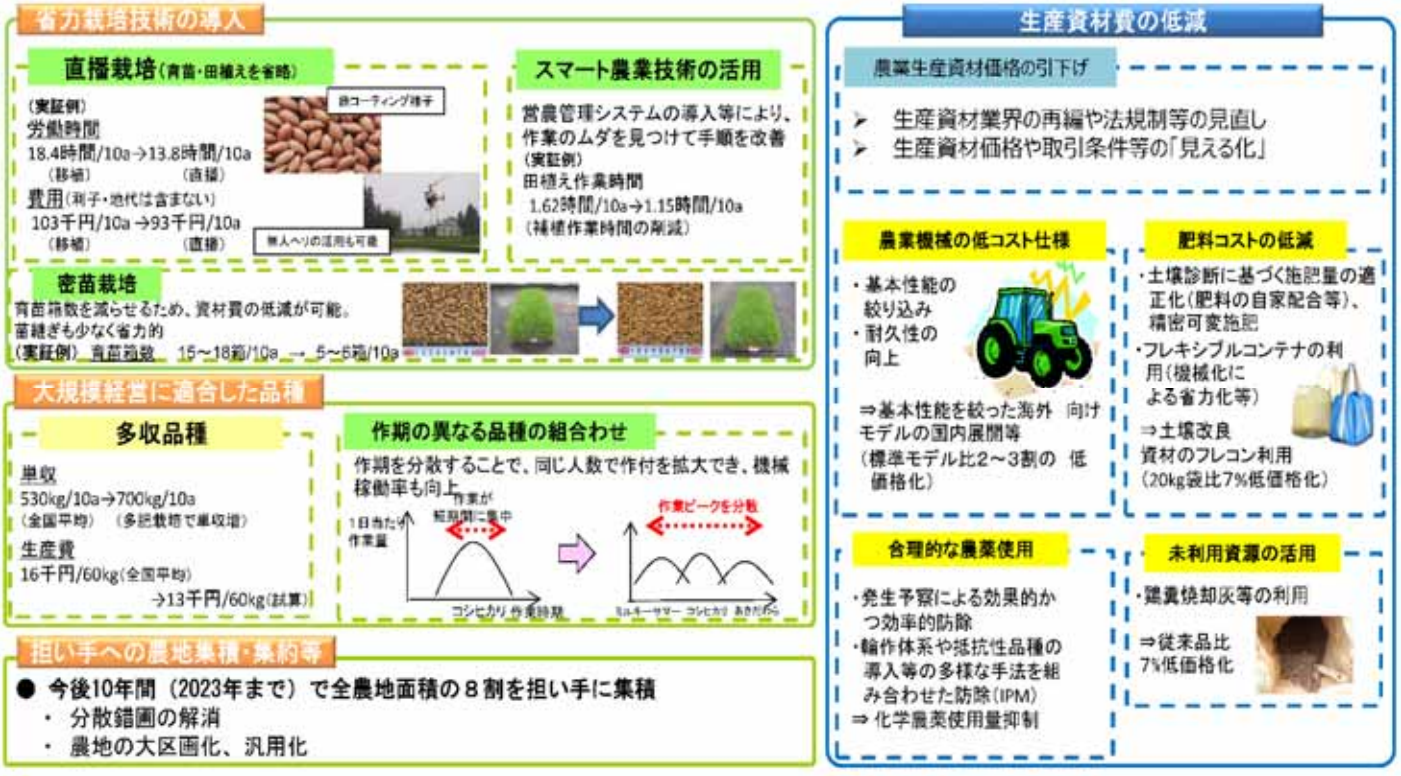
○ 中食・外食向けの米の仕入状況調査

中食・外食事業者に対して、米の仕入数量・価格の動向を調査・公表

仕入数量の動向（平成31年１～３月）



生産コスト低減に向けた具体的な取組



○問い合わせ先　農林水産省政策統括官付農産企画課米穀需給班
代表：03-3502-8111（内線4975）　直通：03-6738-8973

目　次

Ⅰ　米の需給・契約・販売

１　米の需給（米の基本指針(平成31年３月)）

平成30/31年及び平成31/32年の需給見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２　米の契約・販売

（１）政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果 ・・・・・・・・・・・・・ 2

（２）平成30年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、令和元年５月末現在）（速報） ・・ 3

（３）都道府県別事前契約数量（速報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Ⅱ　米の在庫情報

（１）全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成24年７月末～令和元年５月末）（速報） ・・13

（２）産地別民間在庫の状況（前年同月比） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

（３）平成29･30年産の産地別民間在庫の推移（速報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

Ⅲ　米の価格情報

１　相対取引価格・数量

（１）相対取引価格（年産別） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

（２）価格帯別分析結果（令和元年５月） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

（３）相対取引価格・数量（平成30年産米、産地品種銘柄別、令和元年５月分）（速報） ・・・26

２　スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

３　米の先物取引価格の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

４　米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和元年６月分） ・・・・・・・・・・・・・32

Ⅳ　主食用米以外（輸出を含む）

１　30年産米の作付状況

（１）30年産米の用途別作付面積及び生産量・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

（２）主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率） ・・・・・・・・・・・・・・・34

（３）新規需要米の用途別認定状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

２　加工用米及び新規需要米の取組状況概要

（１）29米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計） ・・・・・・・・・・・・・・35

（２）加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

３　酒造好適米の需給状況

（１）日本酒の出荷状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

（２）日本酒原料米の使用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

（３）酒造好適米の生産量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

（４）酒造好適米の需要量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

４　飼料用米の需要量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

５　コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

６　コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について ・・・・・・・・・・・・・・・42

Ⅴ　支援事業等

（１）水田活用の直接支払交付金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43

（２）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

（３）米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策） ・・・・・・・・・・・・・・・・49

（４）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 ・・・・・・・・・・51

（５）コメ海外市場拡大戦略プロジェクト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53

Ⅵ　消費動向
（１）米の消費動向（米穀機構による調査）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
（２）購入数量の推移（家計調査）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
（３）消費者物価指数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
（４）小売物価統計の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
（５）米販売事業者における販売数量及び販売価格の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・59
（６）中食・外食事業者の米の仕入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
（７）小売価格の推移（ＰＯＳデータ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
Ⅶ　輸入米（ＭＡ米、ＣＰＴＰＰ・国別枠）の動向
１　ＭＡ米（一般、ＳＢＳ）
（１）ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
（２）加工原材料用に係る政府所有ＭＡ米の見積合わせ結果(平成30年度)・・・・・・・・・・63
（３）SBS輸入米の見積合わせ結果(平成30年度)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
２　ＣＰＴＰＰ・国別枠の見積合わせ結果（令和元年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・64
Ⅷ　その他
（１）水稲うるち玄米の農産物検査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
（２）平成30年産水陸稲の収穫量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66

Ⅰ　米の需給・契約・販売

1　米の需給（米の基本指針(平成31年3月)）

平成30/31年及び平成31/32年の需給見通し

（単位：万トン）

平成30／31年	平成30年6月末民間在庫量	A	190（確定値）
	平成30年産主食用米等生産量	B	733（31年産米の水稲収穫量(主食用)）
	平成30/31年主食用米等供給量計	C=A+B	923
	平成30/31年主食用米等需要量	D	735
	平成31年6月末民間在庫量	E=C-D	188

平成30年産米の相対取引価格が平成29年産米に比して上昇していることから、需要量に及ぼす影響を踏まえ補正

新算出方法による見通し　補正
736万トン － 1万トン ＝ 735万トン

平成31／32年	平成31年6月末民間在庫量	E	188
	平成31年産主食用米等生産量	F	718 ～ 726
	平成31/32年主食用米等供給量計	G=E+F	906 ～ 914
	平成31/32年主食用米等需要量	H	726
	平成32年6月末民間在庫量	I=G-H	180 ～ 188

平成32年６月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となる718万トンから平成31/32年の需要見通しと同水準の726万トンまでと８万トンの幅をもって設定

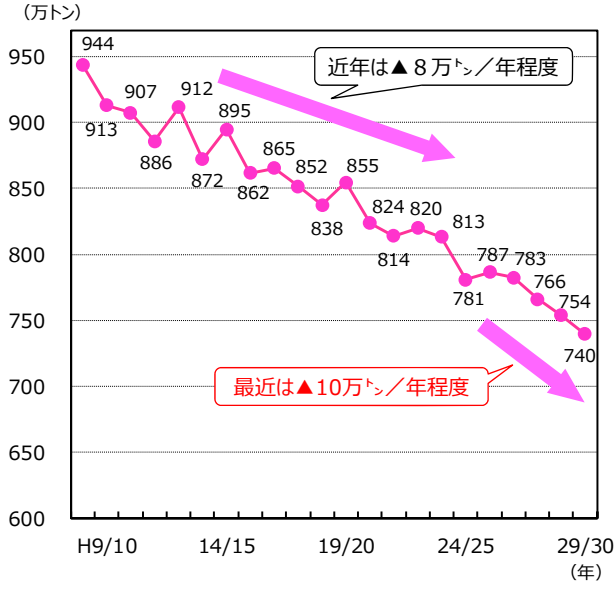
（参考）30年産（平成30年3月基本指針）との比較

平成30年産 735万トン ➡ 平成31年産 718万トン～726万トン

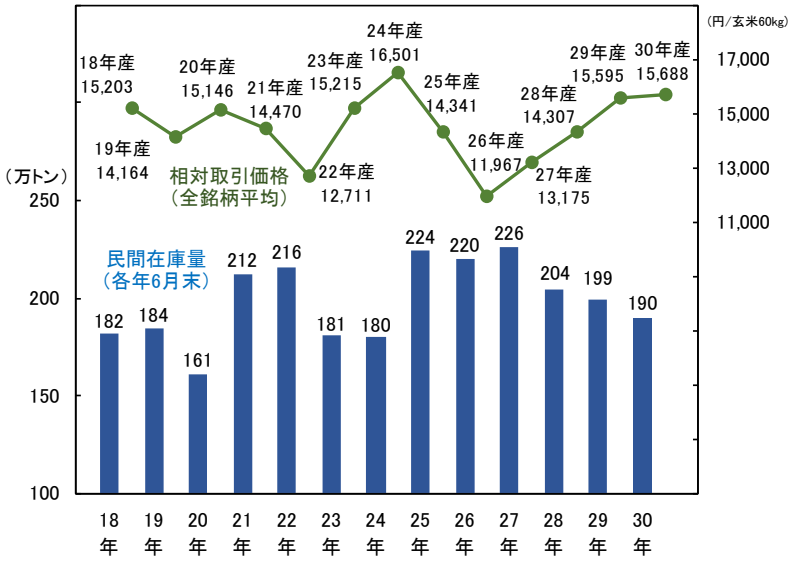
（前年比）▲17～▲9　▲2.3%～▲1.2%

注：平成31/32年主食用米等需要量については、現時点で平成31年産米の価格の状況を見通すことが困難であるため、価格の変動が生じた場合の需要量への影響は見込んでいない。

（参考）主食用米の需要量の推移



（参考）相対取引価格と民間在庫量



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（30年産は元年5月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2　米の契約・販売

（1）政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果

令和元年産

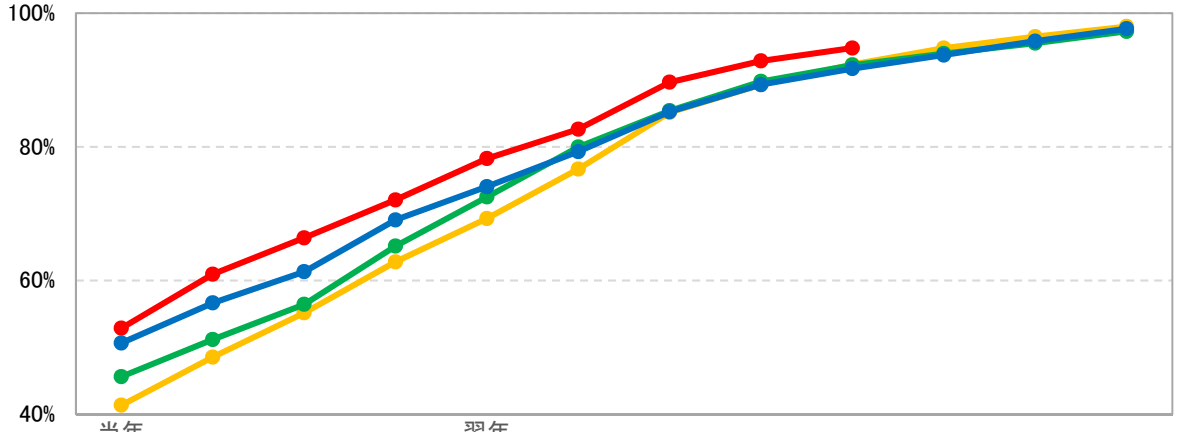
（単位：トン）

買入対象米穀の産地	都道府県別優先枠	買入入札の結果									落札合計数量
		第1回 平成31年1月29日実施	第2回 平成31年2月12日実施	第3回 平成31年3月5日実施	第4回 平成31年3月26日実施	第5回 平成31年4月16日実施	第6回 令和元年5月10日実施	第7回 令和元年5月23日実施	第8回 令和元年6月6日実施	第9回 令和元年6月27日実施	
北海道	4,200	0	0	51	0	1,211	0	0	0	900	2,162
青森	26,600	7,012	12,007	2,632	2,330	1,648	915	0	0	0	26,544
岩手	3,530	280	0	499	1,800	50	849	0	0	0	3,478
宮城	11,600	408	8,302	963	1,927	0	0	0	0	0	11,600
秋田	28,000	2,014	7,334	4,641	905	976	500	1,339	971	1,332	20,012
山形	30,500	281	73	19,332	520	3	35	1,008	27	12	21,291
福島	27,000	4,085	10,798	2,761	470	1,993	5,794	700	0	0	26,601
茨城	700	196	390	42	34	38	0	0	0	0	700
栃木	7,500	1,599	4,560	767	105	312	18	21	105	0	7,487
群馬	30	0	12	0	0	18	0	0	0	0	30
埼玉	220	94	126	0	0	0	0	0	0	0	220
千葉	1,580	120	772	422	266	0	0	0	0	0	1,580
東京											
神奈川											
新潟	27,800	160	20,052	218	995	3,127	107	36	94	0	24,789
富山	17,400	129	11,141	702	80	0	0	0	30	115	12,197
石川	7,430	138	220	3,858	344	1,500	222	286	757	0	7,325
福井	4,500	30	2,728	189	567	0	338	18	0	150	4,020
山梨											
長野	1,500	20	230	100	0	0	0	1,076	0	0	1,426
岐阜	450	10	128	80	0	90	0	0	0	127	435
静岡	20	0	0	0	0	20	0	0	0	0	20
愛知	2,000	30	444	10	76	244	18	0	0	0	822
三重	270	60	0	0	0	0	0	0	0	188	248
滋賀	1,670	79	13	949	46	165	36	10	0	10	1,308
京都											
大阪											
兵庫											
奈良											
和歌山											
鳥取	700	0	0	100	0	0	100	100	100	0	400
島根	130	0	0	0	0	130	0	0	0	0	130
岡山	1,780	85	166	110	3	41	492	47	0	0	944
広島											
山口											
徳島	1,120	798	140	57	45	15	61	0	0	0	1,116
香川											
愛媛											
高知	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	10
福岡	270	0	119	44	20	0	2	79	0	0	264
佐賀	220	0	0	220	0	0	0	0	0	0	220
長崎	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本	290	0	20	56	0	111	42	0	0	18	247
大分	100	0	0	0	0	0	94	0	0	0	94
宮崎											
鹿児島											
沖縄											
都道府県別枠計	209,140	17,628	79,775	38,813	10,533	11,692	9,623	4,720	2,084	2,852	177,720
指定なし	0	0	0	0	0	2,898	285	819	703	508	5,213
合　計	209,140	17,628	79,775	38,813	10,533	14,590	9,908	5,539	2,787	3,360	182,933
うちCPTPP分											9,000

（2）平成30年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、令和元年５月末現在）（速報）

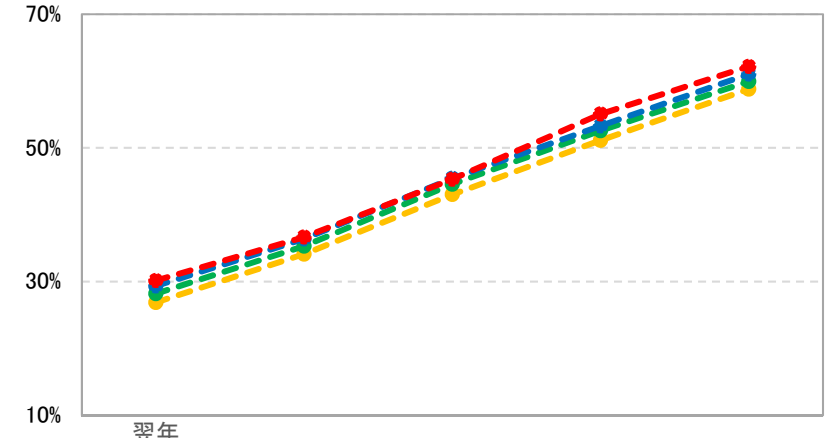
- 集荷数量は、前年同月と比較して▲7.1万トンの280万トン。
- 契約数量は、前年同月と比較して▲2.1万トンの265万トン。契約比率は95%。
- 販売数量は、前年同月と比較して▲3.9万トンの174万トン。販売比率は62%。

契約比率の推移(平成27～30年産)



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
27年産	41%	49%	55%	63%	69%	77%	85%	89%	92%	95%	96%	98%
28年産	46%	51%	56%	65%	72%	80%	85%	90%	92%	94%	96%	97%
29年産	51%	57%	61%	69%	74%	79%	85%	89%	92%	94%	96%	98%
30年産	53%	61%	66%	72%	78%	83%	90%	93%	95%			

販売比率の推移(平成27～30年産)



	1月	2月	3月	4月	5月
27年産	27%	34%	43%	51%	59%
28年産	28%	35%	45%	53%	60%
29年産	29%	36%	45%	53%	61%
30年産	30%	37%	45%	55%	62%

注：　平成27～29年産は、各月末時点の契約・販売数量を生産年の翌年10月末の集荷数量で除して算出した最終実績ベース 。
　　平成30年産は、各月末時点の契約・販売数量を令和元年５月末の集荷数量で除して算出した直近ベースのため、今後、集荷数量の増加に伴い契約・販売比率に変動が生じる場合がある。

集荷・契約・販売数量（累計、うるち米、令和元年5月末現在）（北海道から静岡まで）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比（29年産の同時期との比較） 集荷数量	契約数量	販売数量
	（千玄米トン）	（千玄米トン）		（千玄米トン）				
北海道	305.9	294.1	96%	191.2	62%	84%	89%	86%
ななつぼし	139.3	133.6	96%	88.9	64%	81%	81%	81%
ゆめぴりか	74.2	72.6	98%	44.1	59%	82%	97%	81%
きらら397	33.0	32.1	97%	14.7	44%	87%	88%	88%
青　森	146.5	125.8	86%	82.1	56%	102%	101%	106%
まっしぐら	101.3	84.9	84%	56.8	56%	108%	107%	113%
つがるロマン	34.9	30.7	88%	16.9	48%	91%	89%	88%
岩　手	129.0	128.9	100%	70.7	55%	104%	106%	97%
ひとめぼれ	99.3	99.8	101%	56.5	57%	103%	107%	96%
あきたこまち	14.8	14.7	99%	6.5	44%	89%	89%	92%
いわてっこ	2.8	2.7	99%	1.4	49%	111%	113%	120%
宮　城	152.1	153.2	101%	81.1	53%	98%	100%	103%
ひとめぼれ	122.8	126.2	103%	65.4	53%	98%	101%	106%
つや姫	10.8	9.9	92%	5.9	55%	93%	90%	90%
ササニシキ	7.8	7.6	97%	4.3	55%	90%	90%	83%
秋　田	249.8	243.5	97%	155.0	62%	105%	117%	106%
あきたこまち	200.9	196.7	98%	133.2	66%	104%	115%	105%
めんこいな	15.0	13.7	91%	6.1	41%	157%	175%	153%
ひとめぼれ	19.0	18.4	97%	9.0	48%	93%	94%	98%
山　形	172.9	169.2	98%	114.9	66%	88%	89%	95%
はえぬき	102.6	100.2	98%	65.1	63%	87%	86%	97%
つや姫	34.2	34.2	100%	25.3	74%	88%	91%	88%
ひとめぼれ	13.9	12.9	93%	9.3	67%	77%	76%	73%
福　島	157.7	146.5	93%	74.0	47%	97%	102%	92%
コシヒカリ中通り	45.8	39.1	85%	23.4	51%	89%	92%	82%
コシヒカリ会津	40.7	46.0	113%	18.4	45%	86%	97%	88%
コシヒカリ浜通り	7.5	7.3	97%	3.2	42%	79%	87%	78%
ひとめぼれ	29.8	26.3	88%	15.6	52%	101%	107%	108%
天のつぶ	20.6	17.2	84%	6.3	31%	158%	154%	119%
茨　城	70.6	63.4	90%	50.9	72%	100%	97%	98%
コシヒカリ	52.5	47.0	89%	36.2	69%	97%	93%	93%
あきたこまち	9.9	9.9	100%	9.8	98%	102%	107%	106%
ミルキークイーン	1.2	1.2	100%	1.1	92%	…	…	…
栃　木	136.2	120.7	89%	64.4	47%	111%	114%	109%
コシヒカリ	106.6	94.9	89%	49.2	46%	107%	109%	102%
あさひの夢	9.5	8.4	88%	4.4	46%	119%	119%	185%
なすひかり	9.0	7.1	79%	4.8	53%	123%	129%	121%
群　馬	25.0	22.0	88%	12.0	48%	96%	85%	93%
あさひの夢	17.6	15.8	90%	8.2	47%	100%	90%	95%
ゆめまつり	4.8	3.6	75%	2.7	55%	84%	63%	83%
埼　玉	18.4	16.8	92%	10.7	58%	89%	86%	91%
彩のかがやき	8.9	7.9	89%	5.8	65%	89%	82%	90%
コシヒカリ	4.7	4.4	93%	2.5	54%	75%	75%	68%
彩のきずな	3.5	3.4	95%	1.5	43%	111%	107%	157%
千　葉	77.6	66.1	85%	55.1	71%	103%	93%	93%
コシヒカリ	36.7	30.3	83%	25.6	70%	95%	87%	87%
ふさこがね	17.8	14.3	80%	10.9	61%	123%	98%	96%
ふさおとめ	17.7	16.4	92%	14.4	81%	102%	97%	97%
東　京	0.0	0.0	100%	0.0	100%	…	…	…
神奈川	2.3	1.7	74%	1.7	74%	91%	90%	90%
山　梨	5.9	3.5	60%	3.5	60%	95%	88%	88%
コシヒカリ	5.0	3.0	61%	3.0	61%	95%	87%	87%
長　野	66.0	65.5	99%	43.7	66%	97%	97%	108%
コシヒカリ	52.7	52.3	99%	35.1	67%	98%	98%	115%
あきたこまち	7.5	7.1	95%	4.0	54%	95%	97%	82%
静　岡	6.0	6.0	100%	6.0	100%	92%	124%	124%
コシヒカリ	4.0	4.0	100%	4.0	100%	93%	121%	121%
きぬむすめ	0.7	0.7	100%	0.7	100%	102%	149%	149%
あいちのかおり	0.8	0.8	100%	0.8	100%	85%	137%	137%

注：本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（累計、うるち米、令和元年5月末現在）（新潟から広島まで）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比（29年産の同時期との比較） 集荷数量	契約数量	販売数量
	（千玄米トン）	（千玄米トン）		（千玄米トン）				
新　潟	259.9	246.8	95%	181.0	70%	102%	99%	103%
コシヒカリ一般	125.4	120.9	96%	91.8	73%	90%	89%	97%
コシヒカリ魚沼	31.0	26.8	86%	23.3	75%	106%	102%	118%
コシヒカリ佐渡	11.9	11.7	98%	9.0	76%	87%	86%	96%
コシヒカリ岩船	10.4	10.4	100%	7.7	74%	93%	93%	98%
こしいぶき	46.2	43.3	94%	26.8	58%	121%	116%	100%
富　山	92.9	87.1	94%	64.9	70%	101%	107%	106%
コシヒカリ	71.2	66.8	94%	49.7	70%	96%	99%	99%
てんたかく	8.4	7.6	91%	6.2	74%	115%	116%	117%
石　川	27.1	26.1	96%	13.3	49%	106%	103%	93%
コシヒカリ	16.7	16.7	100%	7.3	44%	96%	96%	73%
ゆめみづほ	5.4	4.6	85%	2.8	52%	113%	97%	122%
福　井	69.4	68.0	98%	47.1	68%	104%	104%	98%
コシヒカリ	29.8	29.3	98%	20.0	67%	92%	91%	87%
ハナエチゼン	20.1	20.0	99%	15.9	79%	109%	108%	106%
岐　阜	19.2	19.8	103%	12.4	65%	73%	77%	85%
ハツシモ	7.3	8.1	111%	4.0	55%	57%	63%	71%
コシヒカリ	6.6	6.0	92%	4.4	66%	89%	83%	89%
あきたこまち	1.7	1.7	98%	1.6	91%	87%	88%	114%
愛　知	31.8	30.8	97%	20.5	65%	93%	98%	103%
あいちのかおり	16.9	17.2	102%	10.0	59%	93%	103%	110%
コシヒカリ	9.6	9.3	96%	6.8	70%	98%	95%	100%
大地の風	1.3	1.3	99%	1.0	76%	95%	95%	95%
三　重	28.2	26.8	95%	18.9	67%	101%	98%	95%
コシヒカリ一般	15.6	15.4	99%	10.5	67%	101%	101%	95%
コシヒカリ伊賀	5.7	5.5	97%	3.8	66%	93%	93%	88%
キヌヒカリ	2.1	2.0	93%	1.1	51%	97%	96%	76%
滋　賀	56.3	53.7	95%	36.2	64%	97%	92%	84%
コシヒカリ	20.6	19.4	94%	12.8	62%	94%	88%	74%
キヌヒカリ	10.7	9.9	92%	7.2	68%	98%	91%	93%
日本晴	4.5	4.3	95%	1.8	39%	92%	89%	71%
京　都	9.4	9.4	100%	6.4	68%	75%	82%	74%
コシヒカリ	5.4	5.8	108%	3.8	71%	76%	83%	77%
キヌヒカリ	2.2	2.4	109%	1.7	79%	74%	81%	70%
ヒノヒカリ	0.9	0.8	84%	0.5	52%	…	…	…
大　阪	－	－	－	－	－	…	…	…
兵　庫	40.1	37.6	94%	26.0	65%	99%	97%	102%
コシヒカリ	11.1	11.0	99%	8.1	73%	96%	96%	94%
ヒノヒカリ	3.6	3.3	92%	2.4	65%	79%	80%	98%
キヌヒカリ	3.4	3.2	96%	2.2	67%	97%	96%	108%
奈　良	7.9	5.7	72%	5.7	72%	90%	89%	89%
ヒノヒカリ	6.1	4.2	70%	4.2	70%	89%	92%	92%
和歌山	0.9	0.9	100%	0.9	100%	60%	60%	60%
鳥　取	22.3	21.3	95%	15.1	68%	106%	114%	113%
コシヒカリ	7.6	7.4	97%	5.4	72%	98%	105%	108%
きぬむすめ	8.4	7.9	94%	5.0	59%	114%	122%	117%
ひとめぼれ	5.9	5.7	97%	4.4	76%	108%	116%	117%
島　根	37.8	36.4	96%	24.2	64%	98%	101%	95%
コシヒカリ	16.4	15.9	97%	10.9	66%	91%	93%	86%
きぬむすめ	14.3	13.8	96%	8.4	59%	106%	116%	109%
つや姫	4.5	4.4	98%	2.9	65%	104%	101%	98%
岡　山	21.9	22.4	102%	11.8	54%	87%	89%	95%
アケボノ	6.7	6.7	100%	2.5	37%	90%	90%	101%
あきたこまち	1.6	1.8	115%	1.4	89%	77%	94%	97%
ヒノヒカリ	2.6	2.4	93%	1.4	55%	82%	76%	93%
広　島	32.4	37.8	117%	21.7	67%	94%	109%	94%
コシヒカリ	13.8	16.0	115%	9.9	71%	91%	108%	94%
あきさかり	5.8	6.3	108%	4.0	68%	…	…	…
あきろまん	3.1	3.6	117%	1.8	59%	82%	104%	75%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（累計、うるち米、令和元年5月末現在）（山口から沖縄まで、全国計）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約比率 ②/①	販売数量 ③	販売比率 ③/①	参考：前年同月比（29年産の同時期との比較） 集荷数量	契約数量	販売数量
	（千玄米トン）	（千玄米トン）		（千玄米トン）				
山　口	40.0	37.9	95%	22.7	57%	122%	117%	127%
コシヒカリ	11.8	11.3	96%	7.6	64%	127%	124%	135%
ひとめぼれ	9.8	9.4	96%	5.9	60%	126%	122%	120%
ヒノヒカリ	8.5	8.1	95%	4.3	51%	124%	119%	124%
徳　島	4.9	4.3	87%	3.7	75%	92%	80%	89%
コシヒカリ	2.3	2.0	88%	2.0	87%	80%	70%	87%
キヌヒカリ	1.3	1.3	100%	0.9	67%	87%	87%	76%
香　川	21.5	19.6	91%	11.2	52%	92%	84%	81%
ヒノヒカリ	6.6	6.5	99%	3.2	49%	66%	66%	63%
コシヒカリ	7.6	7.2	94%	4.3	57%	100%	94%	81%
おいでまい	4.4	3.8	87%	2.4	54%	…	…	…
愛　媛	9.8	8.1	82%	7.3	74%	85%	93%	88%
コシヒカリ	3.9	3.3	84%	3.2	81%	91%	93%	92%
ヒノヒカリ	1.7	1.2	68%	1.1	67%	76%	76%	79%
あきたこまち	1.4	1.0	72%	1.0	71%	90%	90%	90%
高　知	8.4	8.0	95%	8.0	95%	121%	116%	150%
コシヒカリ	5.8	5.7	100%	5.7	100%	101%	101%	138%
ヒノヒカリ	0.9	0.7	77%	0.7	77%	390%	300%	298%
福　岡	52.8	49.0	93%	33.3	63%	98%	98%	95%
夢つくし	17.0	16.0	94%	11.4	67%	100%	100%	91%
ヒノヒカリ	13.9	13.4	97%	9.3	67%	96%	96%	100%
元気つくし	18.6	16.8	91%	11.2	60%	98%	99%	99%
佐　賀	42.0	41.5	99%	23.0	55%	98%	97%	94%
夢しずく	14.5	14.5	100%	7.8	54%	109%	108%	86%
さがびより	13.1	13.0	99%	6.5	49%	98%	97%	108%
ヒノヒカリ	9.3	9.3	100%	5.0	53%	92%	92%	92%
長　崎	11.5	11.4	99%	6.8	59%	100%	101%	92%
ヒノヒカリ	3.4	3.4	99%	2.0	58%	94%	95%	84%
にこまる	5.0	4.9	98%	2.5	51%	104%	106%	90%
コシヒカリ	1.4	1.4	100%	1.2	86%	88%	90%	93%
熊　本	37.9	27.3	72%	20.2	53%	101%	95%	88%
ヒノヒカリ	16.4	9.6	59%	7.8	48%	106%	83%	84%
森のくまさん	7.5	5.8	76%	3.4	45%	101%	94%	90%
コシヒカリ	5.7	5.6	100%	4.2	74%	88%	101%	93%
大　分	11.9	11.9	100%	6.4	54%	89%	89%	89%
ヒノヒカリ	8.0	8.0	100%	3.5	44%	85%	85%	78%
ひとめぼれ	0.8	0.9	103%	0.5	62%	104%	101%	102%
宮　崎	14.8	14.8	100%	13.2	89%	91%	91%	89%
コシヒカリ	8.5	8.5	100%	8.5	100%	85%	85%	85%
ヒノヒカリ	5.4	5.4	100%	3.9	73%	102%	102%	99%
鹿児島	11.4	11.4	100%	9.7	85%	87%	87%	87%
ヒノヒカリ	4.3	4.3	100%	2.9	66%	87%	87%	78%
コシヒカリ	3.5	3.5	100%	3.5	100%	89%	89%	89%
あきほなみ	1.5	1.5	100%	1.2	84%	69%	69%	79%
沖　縄	1.6	1.6	100%	1.5	98%	101%	101%	99%
全　国 ①	2,799	2,653	95%	1,741	62%	98%	99%	98%
参考 前年同月(29年産)②	2,870	2,674	93%	1,780	62%			
参考 前年同月差 (①−②)	▲ 71	▲ 21	+ 2%	▲ 39	± 0%			

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2　報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3　集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4　契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。

5　販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6　銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7　全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8　「－」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9　「参考：前年同月比」で、30年産又は29年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

（3）都道府県別事前契約数量（速報）

- 令和元年産の令和元年5月末現在の事前契約数量は対前年同月差＋20万ﾄﾝの85万ﾄﾝ、うち複数年契約数量は＋17万ﾄﾝの81万ﾄﾝとなっている。

令和元年産・平成30年産　都道府県別事前契約状況（生産年５月末現在）

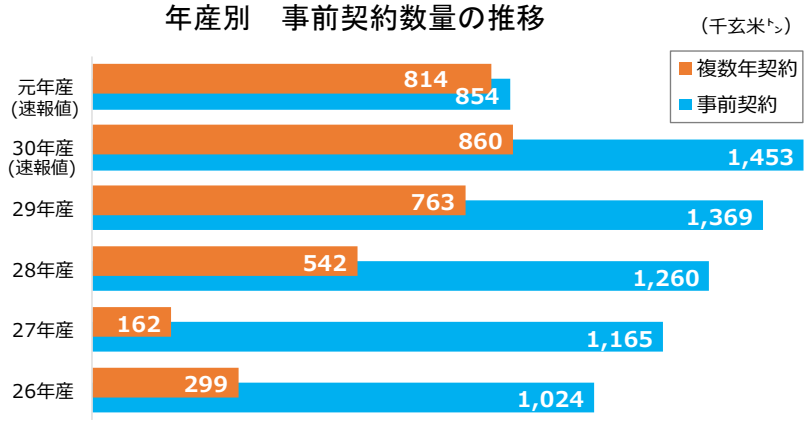
単位：千玄米トン

都道府県	令和元年産米（令和元年5月末現在）			平成30年産米（平成30年5月末現在）			対前年同月差		
	事前契約数量 ①	複数年契約 ②	播種前・収穫前契約 ③	事前契約数量 ④	複数年契約 ⑤	播種前・収穫前契約 ⑥	事前契約数量 ①-④	複数年契約 ②-⑤	播種前・収穫前契約 ③-⑥
北海道	153.7	153.7	－	133.6	133.6	－	20.0	20.0	－
青森	10.1	10.1	－	35.0	35.0	－	▲24.9	▲24.9	－
岩手	82.1	82.1	－	0.4	0.4	－	81.8	81.8	－
宮城	125.9	112.7	13.2	122.9	122.9	－	3.0	▲10.2	13.2
秋田	145.1	136.2	8.9	48.0	48.0	－	97.1	88.1	8.9
山形	21.0	21.0	－	19.1	19.1	－	1.8	1.8	－
福島	50.7	50.7	－	51.4	40.8	10.6	▲0.7	9.9	▲10.6
茨城	－	－	－	－	－	－	－	－	－
栃木	69.6	69.6	－	65.8	65.8	－	3.8	3.8	－
群馬	－	－	－	－	－	－	－	－	－
埼玉	0.6	0.6	－	－	－	－	0.6	0.6	－
千葉	8.1	8.1	－	10.3	10.3	－	▲2.2	▲2.2	－
東京	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川	－	－	－	－	－	－	－	－	－
山梨	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長野	31.0	31.0	－	26.3	26.3	－	4.7	4.7	－
静岡	－	－	－	－	－	－	－	－	－
新潟	110.7	110.7	－	86.1	86.1	－	24.6	24.6	－
富山	0.7	0.7	－	0.7	0.7	－	－	－	－
石川	1.5	1.5	－	1.5	1.5	－	－	－	－
福井	9.3	9.3	－	7.9	7.9	－	1.4	1.4	－
岐阜	－	－	－	－	－	－	－	－	－
愛知	1.5	1.5	－	－	－	－	1.5	1.5	－
三重	－	－	－	－	－	－	－	－	－
滋賀	7.7	7.7	－	40.0	40.0	－	▲32.3	▲32.3	－
京都	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大阪	－	－	－	－	－	－	－	－	－
兵庫	13.0	－	13.0	－	－	－	13.0	－	13.0
奈良	－	－	－	－	－	－	－	－	－
和歌山	－	－	－	－	－	－	－	－	－
鳥取	4.1	－	4.1	－	－	－	4.1	－	4.1
島根	2.4	2.4	－	－	－	－	2.4	2.4	－
岡山	－	－	－	－	－	－	－	－	－
広島	－	－	－	2.0	2.0	－	▲2.0	▲2.0	－
山口	0.6	0.6	－	3.3	0.8	2.5	▲2.7	▲0.2	▲2.5
徳島	－	－	－	－	－	－	－	－	－
香川	3.3	3.3	－	－	－	－	3.3	3.3	－
愛媛	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高知	－	－	－	－	－	－	－	－	－
福岡	0.6	0.6	－	－	－	－	0.6	0.6	－
佐賀	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長崎	－	－	－	－	－	－	－	－	－
熊本	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大分	－	－	－	－	－	－	－	－	－
宮崎	－	－	－	－	－	－	－	－	－
鹿児島	－	－	－	－	－	－	－	－	－
沖縄	－	－	－	－	－	－	－	－	－
全国	**854**	**814**	**39**	**654**	**641**	**13**	**199**	**173**	**26**

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、
　　出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
　2　報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
　3　事前契約数量とは、は種前・収穫前契約及び複数年契約のうち、確認書等により販売数量が決定している数量である。
　4　「－」は、事前契約数量に該当がないもの。

- 事前契約数量は、近年増加傾向にあり、平成30年産では対29年産比６％増の145万ﾄﾝ、また令和元年産では85万ﾄﾝとなっている（令和元年5月末現在）。
- 令和元年産の事前契約数量は対生産年1月 ＋12万ﾄﾝとなっている（令和元年5月末現在）。

年産別　事前契約数量の推移



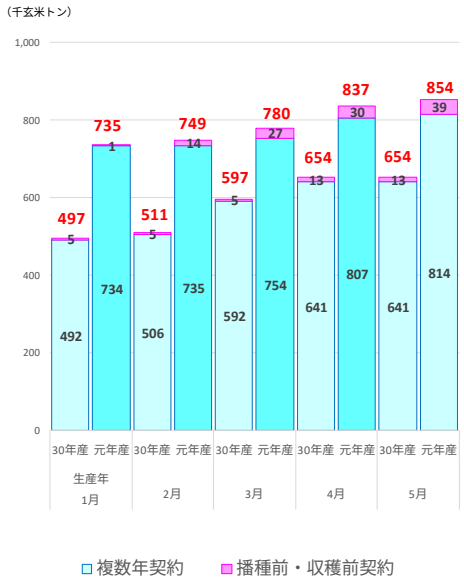
令和元年産　都道府県別事前契約数量の推移（速報）

単位：千玄米トン

都道府県	平成31年1月末現在①	平成31年2月末現在	平成31年3月末現在	平成31年4月末現在②	令和元年5月末現在②	②-①
北　海　道	153.7	153.7	153.7	153.7	153.7	－
青　　森	－	－	10.2	10.1	10.1	10.1
岩　　手	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1	－
宮　　城	105.3	105.3	126.3	126.3	125.9	20.6
秋　　田	86.4	86.4	86.4	136.2	145.1	58.8
山　　形	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	－
福　　島	43.7	43.7	43.7	43.7	50.7	7.0
茨　　城	－	－	－	－	－	－
栃　　木	69.6	69.6	69.6	69.6	69.6	－
群　　馬	－	－	－	－	－	－
埼　　玉	－	－	0.6	0.6	0.6	0.6
千　　葉	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	－
東　　京	－	－	－	－	－	－
神　奈　川	－	－	－	－	－	－
山　　梨	－	－	－	－	－	－
長　　野	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	－
静　　岡	－	－	－	－	－	－
新　　潟	110.7	110.7	110.7	110.7	110.7	－
富　　山	－	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
石　　川	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	－
福　　井	9.0	9.0	9.0	9.0	9.3	0.3
岐　　阜	－	－	－	－	－	－
愛　　知	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	－
三　　重	－	－	－	－	－	－

都道府県	平成31年1月末現在①	平成31年2月末現在	平成31年3月末現在	平成31年4月末現在②	令和元年5月末現在②	②-①
滋　　賀	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	－
京　　都	－	－	－	－	－	－
大　　阪	－	－	－	－	－	－
兵　　庫	－	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
奈　　良	－	－	－	－	－	－
和　歌　山	－	－	－	－	－	－
鳥　　取	－	－	－	4.1	4.1	4.1
島　　根	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	－
岡　　山	－	－	－	－	－	－
広　　島		－	－	－	－	－
山　　口	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.1
徳　　島	－	－	－	－	－	－
香　　川	－	－	－	3.3	3.3	3.3
愛　　媛	－	－	－	－	－	－
高　　知	－	－	－	－	－	－
福　　岡	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	－
佐　　賀	－	－	－	－	－	－
長　　崎	－	－	－	－	－	－
熊　　本	－	－	－	－	－	－
大　　分	－	－	－	－	－	－
宮　　崎	－	－	－	－	－	－
鹿　児　島	－	－	－	－	－	－
沖　　縄	－	－	－	－	－	－
全　　国	**735**	**749**	**780**	**837**	**854**	**119**

令和元年産・平成30年産　事前契約数量の推移（全国）（速報）



- 平成３０年産において事前契約を行なっている都道府県は38道府県、うち複数年契約を行っている都道府県は23道県。
- また、平成２９年産と比べて事前契約数量が増加した都道府県は22県。

平成29・30年産　都道府県別事前契約数量の推移

単位：千玄米トン

	29年産 ①	30年産 ②	播種前・収穫前契約	複数年契約	前年差 ③=②-①	前年比 ④=②/①
1 秋田	90.5	183.0	97.0	86.0	+92.5	202%
2 栃木	64.8	73.1	2.0	71.1	+8.3	113%
3 宮城	118.7	124.3	16.2	108.1	+5.6	105%
4 長野	27.4	32.5	0.7	31.8	+5.2	119%
5 愛媛	0.9	4.2	4.2	－	+3.3	473%
6 長崎	4.0	7.0	7.0	－	+3.0	175%
7 山形	71.9	74.7	52.5	22.2	+2.8	104%
8 富山	46.1	48.9	40.7	8.2	+2.8	106%
9 山口	24.4	27.1	26.2	0.8	+2.7	111%
10 兵庫	10.0	12.5	12.5	－	+2.6	126%
11 香川	14.1	16.4	16.4	－	+2.3	116%
12 福島	50.2	52.3	10.6	41.8	+2.1	104%
13 福井	6.8	8.3	－	8.3	+1.5	122%
14 熊本	15.8	17.1	17.1	－	+1.3	108%
15 広島	25.1	26.2	24.2	2.0	+1.1	105%
16 埼玉	8.2	9.2	8.6	0.6	+1.1	113%
17 岩手	91.3	92.2	9.9	82.4	+1.0	101%
18 愛知	14.5	15.1	13.5	1.5	+0.6	104%
19 岡山	－	0.5	0.5	－	+0.5	
20 鳥取	5.4	5.7	5.7	－	+0.3	105%
21 三重	19.8	20.0	20.0	－	+0.2	101%
22 福岡	32.9	33.0	32.4	0.6	+0.1	100%
23 群馬	0.1	0.1	0.1	－	0.0	100%
24 高知	2.1	2.0	2.0	－	▲ 0.1	95%
25 佐賀	26.3	26.2	26.2	－	▲ 0.1	99%
26 宮崎	8.6	8.2	8.2	－	▲ 0.3	96%
27 静岡	2.5	1.9	1.9	－	▲ 0.6	77%
28 大分	5.9	5.3	5.3	－	▲ 0.6	89%
29 島根	35.0	34.2	31.0	3.2	▲ 0.7	98%
30 京都	8.0	7.1	7.1	－	▲ 0.9	89%
31 徳島	0.9	－	－	－	▲ 0.9	
32 石川	23.8	22.4	20.9	1.5	▲ 1.4	94%
33 青森	54.1	52.4	15.2	37.2	▲ 1.7	97%
34 滋賀	43.0	40.0	3.5	36.5	▲ 3.0	93%
35 岐阜	13.9	9.2	6.6	2.6	▲ 4.7	66%
36 新潟	166.1	159.9	32.7	127.2	▲ 6.2	96%
37 茨城	24.5	16.0	13.5	2.5	▲ 8.5	65%
38 北海道	183.1	174.6	1.2	173.3	▲ 8.5	95%
39 千葉	27.9	10.3	－	10.3	▲ 17.5	37%
40 東京	－	－	－	－		
〃 神奈川	－	－	－	－		
〃 山梨	－	－	－	－		
〃 大阪	－	－	－	－		
〃 奈良	－	－	－	－		
〃 和歌山	－	－	－	－		
〃 鹿児島	－	－	－	－		
〃 沖縄	－	－	－	－		
全国	1,369	1,453	594	860	+84	106%

注1　29年産は生産年の翌年10月末時点、30年産は元年5月末時点の数量である。
注2　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成30年産　業態区分別事前契約数量

単位：千玄米トン

	事前契約	播種前・収穫前契約	複数年契約
30年産	1,453	594	860
全国農業協同組合連合会 経済連及び県単一農協等 全集連・全集連系県集荷組合	1,376	539	837
単位農協 全集連系業者	77	54	23

注1　数量は、元年5月末時点である。
注2　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成29・30年産　都道府県別事前契約状況

単位：千玄米トン

都道府県	29年産					30年産（令和元年5月末現在）				
	集荷数量 ①	うち事前契約 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	うち事前契約 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④
北海道	373.0	183.1	49%	142.6	38%	305.9	174.6	57%	173.3	57%
青　森	145.6	54.1	37%	37.0	25%	146.5	52.4	36%	37.2	25%
岩　手	124.9	91.3	73%	83.1	67%	129.0	92.2	72%	82.4	64%
宮　城	155.8	118.7	76%	103.7	67%	152.1	124.3	82%	108.1	71%
秋　田	243.5	90.5	37%	62.8	26%	249.8	183.0	73%	86.0	34%
山　形	207.8	71.9	35%	19.8	10%	172.9	74.7	43%	22.2	13%
福　島	165.1	50.2	30%	43.7	26%	157.7	52.3	33%	41.8	27%
茨　城	72.4	24.5	34%	2.5	3%	70.6	16.0	23%	2.5	4%
栃　木	122.7	64.8	53%	64.8	53%	136.2	73.1	54%	71.1	52%
群　馬	26.2	0.1	0%	－	－	25.0	0.1	0%	－	－
埼　玉	21.2	8.2	38%	－	－	18.4	9.2	50%	0.6	3%
千　葉	75.6	27.9	37%	10.3	14%	77.6	10.3	13%	10.3	13%
東　京	－	－	－	－	－	0.0	－	－	－	－
神奈川	2.5	－	－	－	－	2.3	－	－	－	－
山　梨	6.3	－	－	－	－	5.9	－	－	－	－
長　野	68.8	27.4	40%	25.7	37%	66.0	32.5	49%	31.8	48%
静　岡	6.6	2.5	38%	－	－	6.0	1.9	32%	－	－
新　潟	258.4	166.1	64%	106.7	41%	259.9	159.9	62%	127.2	49%
富　山	92.1	46.1	50%	8.6	9%	92.9	48.9	53%	8.2	9%
石　川	25.7	23.8	93%	1.5	6%	27.1	22.4	83%	1.5	6%
福　井	67.1	6.8	10%	6.8	10%	69.4	8.3	12%	8.3	12%
岐　阜	26.8	13.9	52%	2.6	10%	19.2	9.2	48%	2.6	14%
愛　知	34.4	14.5	42%	－	－	31.8	15.1	47%	1.5	5%
三　重	28.0	19.8	71%	－	－	28.2	20.0	71%	－	－
滋　賀	58.3	43.0	74%	34.2	59%	56.3	40.0	71%	36.5	65%
京　都	12.6	8.0	64%	－	－	9.4	7.1	76%	－	－
大　阪	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
兵　庫	40.9	10.0	24%	－	－	40.1	12.5	31%	－	－
奈　良	8.7	－	－	－	－	7.9	－	－	－	－
和歌山	1.5	－	－	－	－	0.9	－	－	－	－
鳥　取	21.1	5.4	26%	－	－	22.3	5.7	25%	－	－
島　根	39.0	35.0	90%	3.3	8%	37.8	34.2	91%	3.2	8%
岡　山	25.5	－	－	－	－	21.9	0.5	2%	－	－
広　島	34.7	25.1	72%	2.0	6%	32.4	26.2	81%	2.0	6%
山　口	32.8	24.4	74%	0.7	2%	40.0	27.1	68%	0.8	2%
徳　島	5.3	0.9	17%	－	－	4.9	－	－	－	－
香　川	23.7	14.1	59%	－	－	21.5	16.4	76%	－	－
愛　媛	11.8	0.9	7%	－	－	9.8	4.2	42%	－	－
高　知	6.9	2.1	30%	－	－	8.4	2.0	23%	－	－
福　岡	53.9	32.9	61%	0.6	1%	52.8	33.0	63%	0.6	1%
佐　賀	42.6	26.3	62%	－	－	42.0	26.2	62%	－	－
長　崎	11.7	4.0	34%	－	－	11.5	7.0	61%	－	－
熊　本	37.5	15.8	42%	－	－	37.9	17.1	45%	－	－
大　分	13.5	5.9	44%	－	－	11.9	5.3	45%	－	－
宮　崎	16.2	8.6	53%	－	－	14.8	8.2	55%	－	－
鹿児島	13.4	－	－	－	－	11.4	－	－	－	－
沖　縄	1.5	－	－	－	－	1.6	－	－	－	－
全　国	2,914	1,369	47%	763	26%	2,799	1,453	52%	860	31%

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：１　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
２　報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
３　29年産は生産年の翌年10月末時点、30年産は元年５月末時点の数量である。
４　集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
５　事前契約分とは、注４の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。
６　全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。
７　「－」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

主食用米の需要に応じた生産・販売

－需給や価格を安定させるためには、「産地と実需者との間での安定取引の拡大」が重要です－

需要に基づかない生産にはリスクが伴います

需給緩和局面において、需要に基づかない生産が産地で行われていた場合、行き場の決まっていないコメは値下げ販売を余儀なくされるほか、他の産地の販売動向にも影響を与えてしまいます。

そうならないために

事前契約による安定取引の拡大が重要です

産地は、「は種前」、「複数年」などの事前契約に取り組むことによって需要を的確に捉えることができるほか、価格の安定化にもつなげることができます。

安定取引の実現のためには、
は種前に価格もセットで事前契約を行うことが重要です！

事前契約を行うメリット

産 地	■ 相場変動リスクの回避（需給変動等による価格変動幅を一定程度に収めることができる）
	■ 経営の見通しが立てられる（収穫前に販売先、販売量等の見通しが立てられる）
	■ 経営の安定化（需給環境に左右されず、安定して販売先を確保できる）
実需者	■ 求める品質・価格・量に応じたコメの安定的な仕入ができる
	■ 経営の見通しが立てられる（収穫前に仕入コスト等の見通しが立てられる）
	■ 経営の安定化（需給環境に左右されず、安定して仕入先を確保できる）

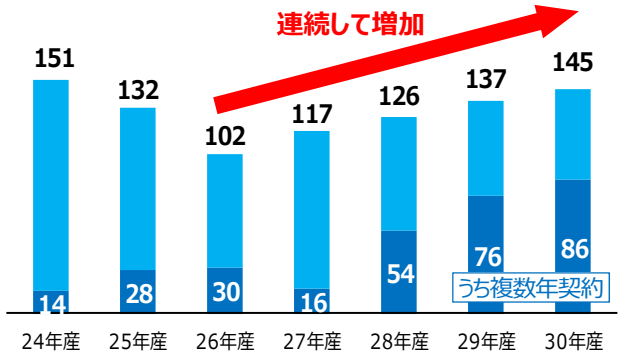
POINT

事前契約は、全体の需給均衡を図りながら、実需者の需要に応じた生産を行う上で最も効果的な手段であり、農業者の経営の安定化のためにも産地の主体的な取組拡大が重要です。

事前契約の取組が全国的に拡大しています

全国的にみると、事前契約数量は平成26年産以降から増加傾向にありますが、産地別の取組状況には、バラツキがみられます。

【事前契約数量の推移】



注１：報告対象者は、直接販売年間5,000ﾄﾝ以上の出荷業者である。
注２：30年産事前契約数量は、元年5月末時点（速報値）。

産地別の事前契約の取組状況（平成29/30年産）

（単位：千トン）

産地	前年比 ②/①	事前契約数量 30年産 ②	29年産 ①
北海道	95%	174.6	183.1
青森	97%	52.4	54.1
岩手	101%	92.2	91.3
宮城	105%	124.3	118.7
秋田	202%	183.0	90.5
山形	104%	74.7	71.9
福島	104%	52.3	50.2
茨城	65%	16.0	24.5
栃木	113%	73.1	64.8
群馬	100%	0.1	0.1
埼玉	112%	9.2	8.2
千葉	37%	10.3	27.9
東京	-	-	-
神奈川	-	-	-
山梨	-	-	-
長野	119%	32.5	27.4
静岡	76%	1.9	2.5
新潟	96%	159.9	166.1
富山	106%	48.9	46.1
石川	94%	22.4	23.8
福井	122%	8.3	6.8
岐阜	66%	9.2	13.9
愛知	104%	15.1	14.5
三重	101%	20.0	19.8

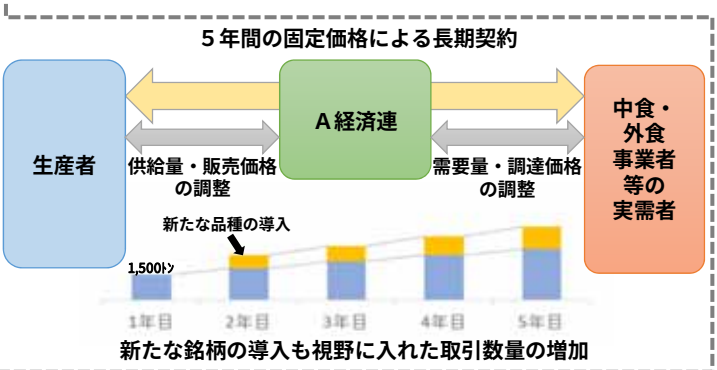
産地	前年比 ②/①	事前契約数量 30年産 ②	29年産 ①
滋賀	93%	40.0	43.0
京都	89%	7.1	8.0
大阪	-	-	-
兵庫	125%	12.5	10.0
奈良	-	-	-
和歌山	-	-	-
鳥取	106%	5.7	5.4
島根	98%	34.2	35.0
岡山	-	0.5	-
広島	104%	26.2	25.1
山口	111%	27.1	24.4
徳島	-	-	0.9
香川	116%	16.4	14.1
愛媛	467%	4.2	0.9
高知	95%	2.0	2.1
福岡	100%	33.0	32.9
佐賀	100%	26.2	26.3
長崎	175%	7.0	4.0
熊本	108%	17.1	15.8
大分	90%	5.3	5.9
宮崎	95%	8.2	8.6
鹿児島	-	-	-
沖縄	-	-	-
全国	106%	1,453	1,369

注 30年産事前契約数量は、元年5月末時点（速報値）。

取組事例（中食・外食事業者等との５年間の長期契約取引）

○　A経済連では、30年産からの米政策の見直しを機に、生産者にとっても経営のメリットとなるとして、実需者サイドの需要量・調達価格と、生産者サイドの供給量・販売価格の調整を行い、30年産から中食・外食事業者等の実需者との５年間の固定価格による長期契約取引を開始している。

○　この取組は生産者、実需者双方から一定の評価を得られており、生産者サイドでは、次年度以降には新たな銘柄の導入や専用作付農地の集積などにより取引数量を増加させたいと考えている（開始初年度の契約数量は、1,500トン程度）。
　また、契約終了の段階で、取引価格や契約年数の検証を行い、契約の継続や取引数量の増加に繋げていくこととしている。



以上を踏まえ

翌年産以降の自産地の取り組みについて、他の産地に乗り遅れることのないよう事前契約の拡大を今一度検討してみませんか？

<お知らせ>

下記年月に公表した「米に関するマンスリーレポート」では、事前契約についての特集記事を掲載しております。

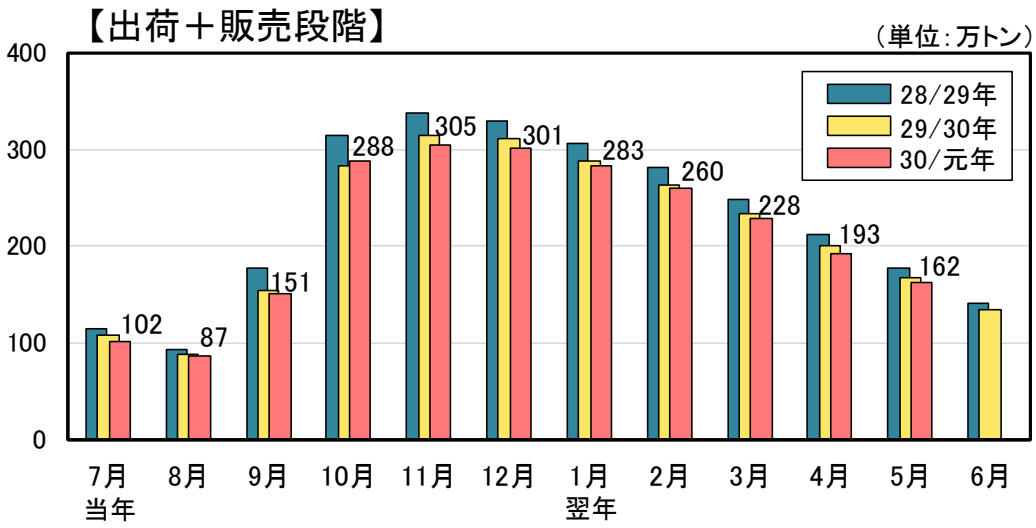
- 平成30年4月号　「事前契約の取組状況について」
- 平成29年2月号　「産地別の事前契約及び複数年契約数量の状況」

Ⅱ　米の在庫情報

（１）全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

- 令和元年５月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月比▲５万トンの162万トンとなっている。

※　産地別の在庫量は、16頁以降参照。



（単位：万玄米トン）

	当年7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24　年　産　米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
１年古米（23年産）	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25　年　産　米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
１年古米（24年産）	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注7)119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26　年　産　米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
１年古米（25年産）	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27　年　産　米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
１年古米（26年産）	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28　年　産　米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
１年古米（27年産）	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29　年　産　米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
１年古米（28年産）	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/31年	102	87	151	288	305	301	283	260	228	193	162	
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲5	▲3	▲7	▲8	▲5	
30　年　産　米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	
１年古米（29年産）	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：１　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　　２　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　　３　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
　　４　期間については、30/31年であれば、30年７月～元年６月である。
　　５　年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と１年古米の計と一致しない。
　　６　26年産米以降は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。
　　７　米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年７月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

（単位：万玄米トン）

	当年7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24 年 産 米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1 年古米（23年産）	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25 年 産 米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1 年古米（24年産）	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26 年 産 米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1 年古米（25年産）	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27 年 産 米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1 年古米（26年産）	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28 年 産 米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1 年古米（27年産）	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29 年 産 米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1 年古米（28年産）	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/31年	76	63	120	236	252	249	236	217	184	151	127	
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲3	▲1	▲3	▲7	▲3	
30 年 産 米	1	14	90	219	240	240	229	211	180	148	125	
1 年古米（29年産）	74	48	30	15	11	7	6	4	3	2	2	

※本表の注意点は前頁の（1）出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

（単位：万玄米トン）

	当年7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24 年 産 米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1 年古米（23年産）	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25 年 産 米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1 年古米（24年産）	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26 年 産 米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1 年古米（25年産）	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27 年 産 米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1 年古米（26年産）	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28 年 産 米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1 年古米（27年産）	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29 年 産 米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1 年古米（28年産）	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/31年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	
30 年 産 米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	
1 年古米（29年産）	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	

※本表の注意点は前頁の（1）出荷＋販売段階の脚注を参照

（２）産地別民間在庫の状況（前年同月比）

平成30年産（令和元年5月末）

【出荷＋販売段階】

（単位：千トン）

産　地	30年産 (R1.5末)	29年産 (H30.5末)	前年同月比
北海道	166.4	189.7	88%
青　森	89.0	94.4	94%
岩　手	72.9	67.8	108%
宮　城	97.7	100.3	97%
秋　田	117.4	128.0	92%
山　形	78.3	98.5	79%
福　島	112.2	117.9	95%
茨　城	52.3	58.5	89%
栃　木	93.1	87.6	106%
群　馬	16.1	17.2	94%
埼　玉	15.4	17.3	89%
千　葉	48.0	40.8	118%
東　京	0.0	0.0	ー
神奈川	0.7	0.8	92%
新　潟	106.7	107.2	100%
富　山	39.3	39.9	98%
石　川	27.8	24.8	112%
福　井	32.9	26.3	125%
山　梨	2.7	2.5	107%
長　野	29.3	35.5	83%
岐　阜	11.3	15.5	73%
静　岡	3.5	4.9	72%
愛　知	17.4	20.3	86%
三　重	15.7	12.9	122%

産　地	30年産 (R1.5末)	29年産 (H30.5末)	前年同月比
滋　賀	30.9	24.6	126%
京　都	5.5	6.6	83%
大　阪	0.8	1.2	64%
兵　庫	23.2	23.1	100%
奈　良	3.8	3.6	105%
和歌山	0.7	1.1	62%
鳥　取	14.3	16.6	86%
島　根	15.7	15.0	105%
岡　山	27.8	30.4	91%
広　島	17.5	17.8	98%
山　口	19.4	17.8	109%
徳　島	4.5	4.7	96%
香　川	10.7	10.0	107%
愛　媛	5.1	5.6	92%
高　知	3.2	4.9	66%
福　岡	32.5	31.0	105%
佐　賀	21.2	20.7	103%
長　崎	5.4	4.9	111%
熊　本	31.6	24.5	129%
大　分	10.4	10.7	97%
宮　崎	4.9	4.3	112%
鹿児島	9.9	8.2	121%
沖　縄	0.0	0.0	ー
全国計	1,545	1,596	97%

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注１：　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

注２：　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

注３：　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

（３）平成29・30年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）　　（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	122.0	85.4	74.0	269.5	316.0	317.8	300.5	273.7	241.0	205.6	176.7	
	30年産米			19.8	225.9	281.6	291.6	279.5	256.4	227.3	193.6	166.4	
	1年古米(29年産)	119.9	83.9	52.9	42.7	33.5	25.4	20.3	16.6	13.1	11.5	9.8	
	出荷段階	92.4	60.1	50.4	203.9	245.7	247.5	236.2	215.1	188.8	154.9	134.2	
	30年産米			15.3	184.8	232.9	238.6	229.6	210.2	185.5	152.0	131.9	
	1年古米(29年産)	92.1	60.0	35.0	19.1	12.8	8.9	6.6	4.9	3.3	2.9	2.3	
	販売段階	29.6	25.3	23.6	65.7	70.2	70.3	64.3	58.6	52.2	50.7	42.5	
	30年産米			4.4	41.1	48.7	53.0	49.9	46.2	41.7	41.6	34.5	
	1年古米(29年産)	27.8	23.9	18.0	23.6	20.7	16.5	13.7	11.7	9.9	8.6	7.5	
青森	出荷＋販売段階	66.1	50.2	50.5	134.1	127.3	132.7	148.7	132.6	126.4	112.2	96.1	
	30年産米			14.7	108.0	105.2	117.6	136.9	126.2	122.0	109.0	93.8	
	1年古米(29年産)	64.7	49.2	35.0	25.6	21.7	14.9	11.5	6.2	4.4	3.2	2.3	
	出荷段階	46.8	33.3	37.7	113.2	104.1	110.7	130.3	116.0	103.1	88.4	74.7	
	30年産米			14.6	100.8	94.4	104.7	125.7	115.4	103.0	88.3	74.7	
	1年古米(29年産)	46.8	33.3	23.1	12.4	9.7	5.9	4.4	0.5	0.2	0.1	0.1	
	販売段階	19.3	17.0	12.8	20.9	23.1	22.1	18.4	16.6	23.2	23.8	21.4	
	30年産米			0.2	7.2	10.8	12.9	11.1	10.8	19.0	20.7	19.1	
	1年古米(29年産)	17.9	15.9	11.9	13.2	12.0	9.0	7.1	5.7	4.2	3.1	2.2	
岩手	出荷＋販売段階	40.4	27.2	24.3	114.3	132.9	144.0	132.5	121.0	103.6	89.7	75.1	
	30年産米			4.0	98.0	121.9	137.1	124.5	114.3	100.2	86.8	72.9	
	1年古米(29年産)	38.5	25.6	18.5	15.1	10.0	6.1	5.0	4.1	2.9	2.4	1.8	
	出荷段階	31.8	19.6	15.6	97.8	117.3	129.1	119.7	109.6	89.3	75.0	64.2	
	30年産米			3.6	90.8	112.7	126.5	115.4	105.9	88.1	74.0	63.3	
	1年古米(29年産)	30.9	18.8	10.8	6.5	4.2	2.1	1.7	1.4	0.9	0.7	0.6	
	販売段階	8.6	7.6	8.7	16.4	15.6	14.9	12.7	11.4	14.3	14.6	11.0	
	30年産米			0.4	7.2	9.3	10.6	9.2	8.4	12.1	12.9	9.6	
	1年古米(29年産)	7.6	6.8	7.7	8.6	5.8	4.0	3.3	2.7	2.0	1.7	1.3	
宮城	出荷＋販売段階	68.4	47.7	62.6	155.7	152.5	148.1	147.1	147.6	135.6	119.5	101.9	
	30年産米			32.5	130.8	135.1	135.6	137.6	140.0	129.2	114.1	97.7	
	1年古米(29年産)	66.1	46.0	28.8	23.7	16.4	11.9	8.9	7.0	5.9	4.9	3.8	
	出荷段階	56.8	36.6	52.8	131.6	128.7	124.4	127.0	129.2	116.2	99.7	85.8	
	30年産米			30.8	120.6	121.7	119.8	123.6	126.5	114.0	97.8	84.3	
	1年古米(29年産)	55.8	35.9	21.3	10.5	6.4	4.2	3.0	2.3	1.9	1.6	1.2	
	販売段階	11.6	11.1	9.9	24.1	23.8	23.8	20.0	18.5	19.4	19.8	16.1	
	30年産米			1.7	10.3	13.3	15.8	14.0	13.6	15.2	16.3	13.4	
	1年古米(29年産)	10.3	10.1	7.4	13.3	10.0	7.7	5.9	4.7	4.0	3.4	2.6	
秋田	出荷＋販売段階	79.4	52.8	93.9	259.4	258.4	261.5	239.6	214.5	179.1	151.4	122.6	
	30年産米		0.0	62.2	234.3	236.8	243.1	223.8	201.6	169.2	144.3	117.4	
	1年古米(29年産)	76.8	50.9	30.4	24.0	20.9	17.9	14.5	11.9	9.8	7.0	5.2	
	出荷段階	62.9	39.6	82.4	237.0	232.8	233.3	215.3	192.5	151.8	125.6	102.6	
	30年産米			60.6	223.7	222.4	225.4	208.2	186.8	147.8	122.9	100.8	
	1年古米(29年産)	62.1	39.0	21.5	13.1	10.2	7.8	6.2	4.9	4.0	2.7	1.9	
	販売段階	16.5	13.2	11.5	22.4	25.6	28.3	24.3	22.0	27.3	25.8	20.0	
	30年産米			1.6	10.6	14.4	17.7	15.7	14.8	21.4	21.4	16.6	
	1年古米(29年産)	14.8	11.9	8.9	10.9	10.7	10.1	8.3	6.9	5.8	4.3	3.3	

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：１　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　　２　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　　３　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
山形	出荷＋販売段階	66.0	48.3	48.8	145.2	160.3	163.0	147.1	138.5	111.1	94.5	82.4	
	30　年　産　米			17.9	117.8	140.4	149.5	135.2	129.3	104.8	89.5	78.3	
	1年古米（29年産）	62.8	45.8	28.9	25.9	18.7	12.4	9.7	7.3	5.8	4.6	3.7	
	出荷段階	55.4	38.5	38.6	124.3	139.7	143.3	131.2	124.8	98.2	80.0	69.5	
	30　年　産　米			17.4	110.4	130.9	137.7	125.8	120.8	96.0	78.3	68.1	
	1年古米（29年産）	54.3	37.7	20.6	13.5	8.5	5.2	4.0	2.7	2.1	1.6	1.2	
	販売段階	10.6	9.8	10.3	20.9	20.6	19.7	15.9	13.7	12.9	14.5	12.9	
	30　年　産　米			0.5	7.4	9.5	11.8	9.4	8.5	8.8	11.2	10.1	
	1年古米（29年産）	8.5	8.1	8.4	12.4	10.2	7.1	5.7	4.6	3.7	3.0	2.5	
福島	出荷＋販売段階	80.9	57.7	58.6	202.7	213.5	205.4	186.9	189.8	166.1	137.2	118.2	
	30　年　産　米			13.4	151.0	171.3	173.8	162.9	173.0	155.1	129.3	112.2	
	1年古米（29年産）	78.8	56.1	43.9	50.6	41.2	30.8	23.4	16.2	10.4	7.5	5.7	
	出荷段階	61.9	43.5	45.8	161.2	171.6	166.2	153.3	147.7	130.0	104.6	92.0	
	30　年　産　米			12.5	137.8	152.6	152.3	142.6	140.6	125.3	101.3	89.5	
	1年古米（29年産）	61.5	43.1	33.0	23.3	18.9	13.8	10.7	7.0	4.6	3.3	2.5	
	販売段階	18.9	14.2	12.9	41.5	41.8	39.2	33.6	42.1	36.1	32.6	26.2	
	30　年　産　米			0.8	13.2	18.7	21.6	20.3	32.4	29.9	28.0	22.7	
	1年古米（29年産）	17.3	13.0	10.9	27.4	22.2	17.0	12.8	9.2	5.8	4.2	3.2	
茨城	出荷＋販売段階	32.6	47.6	114.6	131.0	124.2	116.3	107.9	97.9	85.1	69.6	55.0	
	30　年　産　米		26.4	96.5	117.8	114.3	108.7	101.7	93.0	81.0	66.4	52.3	
	1年古米（29年産）	32.0	20.6	17.5	12.7	9.6	7.4	5.9	4.7	4.0	3.1	2.6	
	出荷段階	17.0	27.3	74.6	89.3	85.4	79.7	71.7	64.6	54.3	42.0	31.6	
	30　年　産　米		17.3	68.6	85.8	83.0	78.1	70.5	63.7	53.5	41.3	30.9	
	1年古米（29年産）	16.9	9.9	6.0	3.4	2.4	1.5	1.2	0.8	0.8	0.7	0.7	
	販売段階	15.6	20.3	39.9	41.7	38.8	36.6	36.1	33.3	30.8	27.6	23.5	
	30　年　産　米		9.0	28.0	32.0	31.3	30.5	31.2	29.3	27.5	25.1	21.4	
	1年古米（29年産）	15.1	10.8	11.6	9.3	7.2	5.8	4.7	3.9	3.2	2.4	1.9	
栃木	出荷＋販売段階	59.2	42.2	111.3	158.1	173.4	168.1	154.1	141.9	128.8	111.2	95.6	
	30　年　産　米		0.1	79.9	126.5	151.6	154.4	144.8	135.6	124.5	107.9	93.1	
	1年古米（29年産）	57.6	41.0	30.5	31.0	21.3	13.3	9.1	6.1	4.3	3.2	2.4	
	出荷段階	40.6	28.0	94.2	124.8	140.2	138.0	129.2	117.2	103.2	86.8	74.3	
	30　年　産　米		0.1	73.1	111.0	132.3	133.8	126.5	115.5	102.0	86.0	73.7	
	1年古米（29年産）	40.5	27.9	21.0	13.7	7.8	4.2	2.7	1.7	1.2	0.8	0.6	
	販売段階	18.6	14.2	17.1	33.4	33.2	30.0	24.8	24.7	25.6	24.4	21.3	
	30　年　産　米			6.8	15.5	19.3	20.6	18.3	20.1	22.5	21.9	19.4	
	1年古米（29年産）	17.1	13.1	9.5	17.3	13.5	9.1	6.3	4.4	3.0	2.3	1.8	
群馬	出荷＋販売段階	11.3	7.4	5.5	10.3	22.3	29.6	29.1	28.0	25.3	19.2	16.4	
	30　年　産　米			0.4	7.3	20.3	28.3	28.2	27.2	24.7	18.8	16.1	
	1年古米（29年産）	11.3	7.4	5.0	3.0	2.0	1.3	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	
	出荷段階	8.4	4.9	3.2	7.1	18.9	27.2	26.0	24.4	22.3	16.0	13.5	
	30　年　産　米			0.4	6.9	18.8	27.2	26.0	24.4	22.3	16.0	13.5	
	1年古米（29年産）	8.4	4.9	2.8	0.2	0.1					0.0	0.0	
	販売段階	2.9	2.6	2.3	3.2	3.4	2.5	3.1	3.6	3.0	3.2	2.9	
	30　年　産　米			0.1	0.4	1.5	1.2	2.1	2.8	2.5	2.8	2.7	
	1年古米（29年産）	2.9	2.5	2.2	2.8	1.9	1.3	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	
埼玉	出荷＋販売段階	14.2	11.9	15.1	29.2	34.4	35.1	31.3	28.6	26.1	20.7	16.4	
	30　年　産　米		1.0	4.4	20.8	27.5	29.8	27.0	25.2	23.6	19.0	15.4	
	1年古米（29年産）	13.8	10.6	10.4	8.2	6.7	5.3	4.2	3.4	2.5	1.7	1.1	
	出荷段階	7.9	6.5	6.9	19.3	24.0	25.9	23.6	22.1	19.1	15.1	12.2	
	30　年　産　米		0.6	2.9	16.0	21.3	23.9	22.0	20.9	18.2	14.6	11.9	
	1年古米（29年産）	7.9	5.9	4.0	3.3	2.8	2.0	1.6	1.2	0.9	0.5	0.3	
	販売段階	6.3	5.4	8.2	9.9	10.4	9.2	7.7	6.5	7.0	5.6	4.2	
	30　年　産　米		0.3	1.5	4.8	6.3	5.9	5.0	4.3	5.4	4.4	3.4	
	1年古米（29年産）	5.9	4.7	6.4	4.9	3.9	3.3	2.6	2.2	1.7	1.1	0.8	

（千葉から静岡）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	19.2	81.7	113.9	112.7	105.7	91.9	83.3	75.5	68.6	59.1	49.1	
	30年産米		70.4	105.7	106.6	100.5	88.0	80.0	72.9	66.7	57.8	48.0	
	1年古米（29年産）	19.0	11.2	8.1	6.1	5.2	3.9	3.3	2.6	1.9	1.3	1.1	
	出荷段階	7.8	68.1	96.5	96.3	90.1	74.5	66.9	60.9	46.1	37.8	32.5	
	30年産米		65.1	94.4	94.7	88.8	73.5	66.0	60.2	45.4	37.3	32.0	
	1年古米（29年産）	7.8	3.0	2.0	1.6	1.3	1.1	0.9	0.6	0.6	0.5	0.5	
	販売段階	11.4	13.6	17.4	16.4	15.5	17.4	16.4	14.6	22.5	21.3	16.6	
	30年産米		5.3	11.2	11.9	11.6	14.5	14.0	12.7	21.3	20.5	16.0	
	1年古米（29年産）	11.2	8.2	6.1	4.4	3.9	2.9	2.4	1.9	1.2	0.8	0.6	
東京	出荷＋販売段階										0.0	0.0	
	30年産米										0.0	0.0	
	1年古米（29年産）												
	出荷段階												
	30年産米												
	1年古米（29年産）												
	販売段階										0.0	0.0	
	30年産米										0.0	0.0	
	1年古米（29年産）												
神奈川	出荷＋販売段階	0.5	0.3	0.4	2.1	1.9	1.7	1.4	1.2	1.0	0.9	0.7	
	30年産米			0.3	2.1	1.8	1.7	1.4	1.2	1.0	0.9	0.7	
	1年古米（29年産）	0.5	0.3	0.2							0.0	0.0	
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	2.1	1.8	1.6	1.4	1.2	1.0	0.8	0.6	
	30年産米			0.3	2.0	1.8	1.6	1.4	1.2	1.0	0.8	0.6	
	1年古米（29年産）	0.4	0.3	0.1							0.0	0.0	
	販売段階										0.1	0.1	
	30年産米										0.1	0.1	
	1年古米（29年産）												
山梨	出荷＋販売段階	1.4	0.9	1.7	4.2	4.5	5.3	4.8	4.4	3.8	3.3	2.8	
	30年産米			1.2	3.8	4.2	5.1	4.7	4.3	3.7	3.2	2.7	
	1年古米（29年産）	1.4	0.9	0.5	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	
	出荷段階	1.1	0.7	1.5	3.7	3.7	4.6	4.3	3.9	3.4	2.9	2.4	
	30年産米			1.2	3.5	3.6	4.5	4.2	3.8	3.3	2.7	2.3	
	1年古米（29年産）	1.1	0.7	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	販売段階	0.3	0.2	0.2	0.5	0.7	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	
	30年産米			0.1	0.3	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	
	1年古米（29年産）	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1				0.0	0.0	
長野	出荷＋販売段階	23.0	16.5	25.7	62.9	76.1	72.0	64.9	57.1	49.6	37.6	30.5	
	30年産米			14.8	51.7	67.8	66.2	60.6	54.3	47.9	36.1	29.3	
	1年古米（29年産）	22.7	16.2	10.7	11.0	8.2	5.7	4.3	2.8	1.7	1.4	1.2	
	出荷段階	19.4	13.5	22.1	53.1	66.5	62.8	57.2	50.1	43.8	31.7	25.8	
	30年産米			14.1	48.8	63.3	60.7	55.7	49.2	43.4	31.4	25.5	
	1年古米（29年産）	19.4	13.5	8.0	4.3	3.1	2.0	1.5	0.9	0.4	0.3	0.3	
	販売段階	3.6	3.0	3.6	9.8	9.6	9.3	7.8	7.0	5.8	5.9	4.7	
	30年産米			0.8	2.9	4.5	5.4	4.9	5.1	4.4	4.7	3.8	
	1年古米（29年産）	3.3	2.7	2.7	6.7	5.0	3.7	2.8	1.9	1.4	1.1	0.9	
静岡	出荷＋販売段階	2.2	5.5	13.7	17.3	17.0	15.7	11.8	10.2	8.7	6.7	3.6	
	30年産米		4.2	12.9	16.9	16.7	15.4	11.6	10.1	8.6	6.6	3.5	
	1年古米（29年産）	2.2	1.2	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
	出荷段階	0.5	2.7	8.3	11.5	11.5	10.8	7.5	6.6	5.6	4.3	1.7	
	30年産米		2.5	8.2	11.4	11.5	10.8	7.5	6.6	5.6	4.3	1.7	
	1年古米（29年産）	0.5	0.2	0.1	0.1								
	販売段階	1.7	2.7	5.4	5.9	5.5	4.9	4.3	3.6	3.1	2.4	1.8	
	30年産米		1.7	4.7	5.5	5.2	4.6	4.1	3.5	2.9	2.3	1.8	
	1年古米（29年産）	1.7	1.0	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	

（新潟から愛知）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	57.6	32.4	210.3	290.2	274.5	247.6	223.7	197.9	165.2	136.1	108.2	
	30年産米		0.5	193.6	276.2	264.1	240.8	218.8	194.3	162.5	133.9	106.7	
	1年古米（29年産）	53.4	29.4	15.0	12.7	9.2	5.7	3.8	2.6	1.8	1.3	0.8	
	出荷段階	44.5	22.0	195.2	265.1	250.5	222.8	200.5	176.9	145.2	115.1	90.9	
	30年産米		0.5	184.6	259.4	246.3	220.3	198.6	175.4	144.1	114.2	90.3	
	1年古米（29年産）	42.4	20.5	10.0	5.1	3.7	2.0	1.3	0.9	0.6	0.4	0.3	
	販売段階	13.2	10.4	15.1	25.1	24.0	24.8	23.2	21.1	20.0	21.0	17.3	
	30年産米			9.0	16.8	17.8	20.5	20.2	18.9	18.4	19.7	16.4	
	1年古米（29年産）	11.0	8.9	5.0	7.5	5.5	3.7	2.5	1.7	1.2	0.9	0.5	
富山	出荷＋販売段階	22.3	15.6	66.6	93.4	91.1	84.3	75.8	67.3	55.4	45.9	39.8	
	30年産米		2.0	57.3	87.9	86.8	81.3	73.6	65.8	54.5	45.2	39.3	
	1年古米（29年産）	21.9	13.3	9.1	5.4	4.2	2.9	2.1	1.4	0.9	0.7	0.5	
	出荷段階	18.0	11.3	60.0	83.1	81.4	75.3	67.8	60.2	44.6	35.8	32.3	
	30年産米		1.4	54.0	82.2	80.6	74.7	67.4	60.0	44.6	35.8	32.3	
	1年古米（29年産）	17.9	9.9	6.1	0.9	0.7	0.6	0.4	0.2		0.0	0.0	
	販売段階	4.4	4.3	6.6	10.3	9.7	9.0	7.9	7.1	10.8	10.1	7.5	
	30年産米		0.6	3.3	5.7	6.2	6.6	6.2	5.8	9.9	9.4	7.0	
	1年古米（29年産）	4.0	3.4	3.0	4.4	3.5	2.3	1.7	1.2	0.9	0.6	0.5	
石川	出荷＋販売段階	14.1	13.7	55.6	67.8	62.9	56.3	50.7	45.7	40.4	33.8	28.4	
	30年産米		5.5	49.6	62.5	58.7	53.8	48.8	44.4	39.5	33.0	27.8	
	1年古米（29年産）	13.8	8.0	5.8	5.1	4.0	2.4	1.7	1.3	1.0	0.8	0.6	
	出荷段階	9.6	8.5	35.5	45.1	42.2	38.4	35.2	32.1	27.8	23.2	20.1	
	30年産米		2.8	31.3	41.9	40.1	37.1	34.2	31.5	27.4	22.9	19.8	
	1年古米（29年産）	9.4	5.5	4.0	3.1	2.0	1.1	0.9	0.6	0.4	0.3	0.3	
	販売段階	4.6	5.2	20.1	22.7	20.7	18.0	15.5	13.6	12.6	10.6	8.3	
	30年産米		2.6	18.2	20.6	18.6	16.7	14.7	12.9	12.1	10.1	8.0	
	1年古米（29年産）	4.4	2.5	1.8	2.1	2.0	1.3	0.8	0.7	0.6	0.4	0.4	
福井	出荷＋販売段階	13.8	16.5	46.9	70.2	63.7	63.2	60.0	53.9	49.7	40.8	33.3	
	30年産米		7.2	40.0	65.3	59.9	60.4	57.7	52.0	48.3	39.8	32.9	
	1年古米（29年産）	13.5	9.2	6.8	4.8	3.7	2.8	2.2	1.9	1.4	0.9	0.4	
	出荷段階	10.3	12.1	38.0	55.8	50.8	49.7	48.6	44.3	40.4	32.4	26.0	
	30年産米		5.5	33.2	54.1	49.5	48.6	47.7	43.6	39.8	31.9	25.8	
	1年古米（29年産）	10.2	6.6	4.8	1.7	1.3	1.0	0.9	0.7	0.6	0.5	0.2	
	販売段階	3.5	4.4	8.8	14.3	12.9	13.6	11.4	9.6	9.3	8.4	7.3	
	30年産米		1.6	6.8	11.2	10.4	11.8	10.0	8.4	8.5	7.9	7.1	
	1年古米（29年産）	3.3	2.6	1.9	3.1	2.4	1.7	1.4	1.1	0.8	0.4	0.2	
岐阜	出荷＋販売段階	11.8	10.7	10.7	14.3	17.1	20.4	19.2	18.0	16.4	14.3	12.4	
	30年産米		1.2	3.6	8.4	12.4	16.7	16.1	15.6	14.4	12.8	11.3	
	1年古米（29年産）	11.2	9.0	6.7	5.6	4.4	3.4	2.8	2.2	1.8	1.3	0.9	
	出荷段階	8.4	7.5	8.1	7.4	9.9	14.0	13.3	13.1	11.2	9.6	8.3	
	30年産米		0.9	3.0	6.5	9.4	13.6	13.0	12.8	11.0	9.5	8.2	
	1年古米（29年産）	8.4	6.7	5.1	0.9	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	
	販売段階	3.4	3.1	2.6	6.9	7.2	6.4	5.9	5.0	5.2	4.7	4.1	
	30年産米		0.4	0.6	1.9	3.0	3.1	3.1	2.8	3.4	3.4	3.1	
	1年古米（29年産）	2.8	2.3	1.6	4.7	3.9	3.0	2.5	2.0	1.6	1.2	0.8	
愛知	出荷＋販売段階	13.7	12.4	13.8	23.0	31.5	34.8	32.5	29.3	26.2	21.7	18.2	
	30年産米		2.5	7.8	19.7	29.0	32.0	30.3	27.6	24.9	20.8	17.4	
	1年古米（29年産）	13.3	9.6	5.9	3.1	2.3	2.6	2.0	1.6	1.3	0.9	0.8	
	出荷段階	11.3	9.7	10.3	17.1	25.0	25.9	24.5	22.1	20.0	16.2	13.6	
	30年産米		1.8	6.1	15.9	24.0	25.5	24.1	21.8	19.7	15.9	13.4	
	1年古米（29年産）	11.2	8.0	4.2	1.3	0.9	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	
	販売段階	2.5	2.6	3.6	5.9	6.5	8.9	8.0	7.2	6.2	5.5	4.6	
	30年産米		0.7	1.7	3.8	5.0	6.6	6.3	5.8	5.2	4.9	4.0	
	1年古米（29年産）	2.1	1.6	1.7	1.9	1.3	2.2	1.6	1.2	1.0	0.6	0.5	

（三重から奈良）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
三重	出荷＋販売段階	6.3	18.2	38.5	42.7	45.1	40.9	37.5	32.5	28.4	22.1	17.0	
	30年産米		14.6	35.7	40.2	42.7	38.7	35.6	30.8	26.9	20.7	15.7	
	1年古米（29年産）	5.8	3.5	2.8	2.5	2.3	2.2	1.9	1.7	1.5	1.4	1.3	
	出荷段階	4.7	15.1	33.8	37.9	40.5	36.8	33.7	29.1	24.8	18.7	14.2	
	30年産米		12.6	31.8	36.3	39.1	35.4	32.4	28.0	23.8	17.8	13.4	
	1年古米（29年産）	4.3	2.5	2.0	1.6	1.4	1.4	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	
	販売段階	1.6	3.1	4.7	4.8	4.5	4.2	3.9	3.4	3.6	3.5	2.8	
	30年産米		2.0	3.8	3.9	3.6	3.3	3.1	2.7	3.1	3.0	2.4	
	1年古米（29年産）	1.5	1.0	0.8	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	
滋賀	出荷＋販売段階	14.3	14.9	50.2	66.6	69.4	69.2	61.8	58.1	46.3	39.5	32.5	
	30年産米		6.0	43.5	61.0	64.7	65.7	58.7	55.4	44.0	37.6	30.9	
	1年古米（29年産）	13.6	8.5	6.5	5.5	4.6	3.4	3.1	2.6	2.3	1.9	1.6	
	出荷段階	10.7	11.6	45.6	60.5	63.2	62.5	56.4	53.1	41.1	33.8	28.3	
	30年産米		5.6	41.2	56.8	59.8	60.1	54.2	51.1	39.3	32.4	27.2	
	1年古米（29年産）	10.4	5.8	4.4	3.7	3.3	2.4	2.2	1.9	1.7	1.3	1.1	
	販売段階	3.5	3.3	4.6	6.1	6.2	6.7	5.5	5.0	5.3	5.7	4.2	
	30年産米		0.5	2.3	4.2	4.8	5.6	4.6	4.3	4.7	5.2	3.7	
	1年古米（29年産）	3.3	2.6	2.1	1.8	1.3	1.0	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	
京都	出荷＋販売段階	4.0	2.8	8.3	12.4	12.8	11.3	10.1	9.7	8.7	6.9	5.7	
	30年産米			6.3	11.4	11.9	10.7	9.7	9.4	8.6	6.8	5.5	
	1年古米（29年産）	4.0	2.7	1.9	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	
	出荷段階	3.1	2.0	7.3	10.3	10.8	9.5	8.5	8.1	7.3	5.5	4.5	
	30年産米			6.0	10.2	10.8	9.5	8.5	8.1	7.3	5.5	4.5	
	1年古米（29年産）	3.1	2.0	1.3									
	販売段階	0.9	0.8	1.0	2.2	2.0	1.9	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2	
	30年産米			0.4	1.1	1.2	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	1.0	
	1年古米（29年産）	0.9	0.7	0.6	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	
大阪	出荷＋販売段階	0.8	0.7	0.6	0.8	1.3	2.0	1.9	1.5	1.2	1.0	0.8	
	30年産米			0.3	0.6	1.2	1.9	1.8	1.5	1.2	1.0	0.8	
	1年古米（29年産）	0.8	0.7	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
	出荷段階	0.7	0.5	0.4	0.7	1.1	1.7	1.6	1.3	1.0	0.8	0.7	
	30年産米			0.3	0.6	1.1	1.7	1.6	1.3	1.0	0.8	0.7	
	1年古米（29年産）	0.7	0.5	0.1									
	販売段階	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	
	30年産米						0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	
	1年古米（29年産）	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
兵庫	出荷＋販売段階	17.3	13.3	28.1	39.0	47.2	42.1	41.0	35.9	31.5	27.8	23.8	
	30年産米			18.3	36.0	44.8	40.2	39.5	34.7	30.5	27.0	23.2	
	1年古米（29年産）	17.1	13.1	9.5	2.8	2.2	1.7	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	
	出荷段階	15.0	11.4	25.4	33.8	42.1	37.4	36.4	31.7	27.2	23.8	20.5	
	30年産米			17.2	33.4	41.9	37.3	36.4	31.7	27.2	23.8	20.5	
	1年古米（29年産）	15.0	11.4	8.1	0.4	0.2	0.1				0.0	0.0	
	販売段階	2.3	1.9	2.7	5.2	5.1	4.7	4.6	4.2	4.3	4.0	3.3	
	30年産米			1.1	2.7	3.0	2.9	3.1	3.0	3.3	3.2	2.7	
	1年古米（29年産）	2.0	1.7	1.4	2.4	2.0	1.6	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5	
奈良	出荷＋販売段階	2.4	1.7	1.7	5.7	8.4	7.6	7.0	6.3	5.6	4.8	4.0	
	30年産米			0.8	5.2	7.9	7.2	6.6	6.0	5.4	4.6	3.8	
	1年古米（29年産）	2.3	1.7	0.8	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
	出荷段階	1.6	1.2	0.9	4.2	6.7	6.1	5.6	5.1	3.3	2.7	2.3	
	30年産米			0.7	4.2	6.7	6.1	5.6	5.0	3.2	2.7	2.2	
	1年古米（29年産）	1.6	1.2	0.1							0.0	0.0	
	販売段階	0.8	0.6	0.8	1.4	1.6	1.5	1.4	1.3	2.4	2.1	1.7	
	30年産米			0.1	1.0	1.2	1.2	1.0	1.0	2.2	1.9	1.6	
	1年古米（29年産）	0.7	0.5	0.7	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	

（和歌山から山口）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.8	0.6	0.7	1.1	1.0	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.7	
	30年産米			0.3	0.8	0.8	1.0	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	
	1年古米（29年産）	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	
	出荷段階			0.3	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6				
	30年産米			0.3	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6				
	1年古米（29年産）												
	販売段階	0.8	0.6	0.4	0.4	0.3	0.6	0.6	0.6	1.0	0.9	0.7	
	30年産米				0.1	0.1	0.4	0.5	0.4	0.9	0.8	0.7	
	1年古米（29年産）	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	
鳥取	出荷＋販売段階	9.9	7.1	9.8	21.6	22.3	28.3	27.1	24.3	21.6	18.2	14.7	
	30年産米			4.9	18.1	20.0	26.7	25.9	23.4	20.9	17.6	14.3	
	1年古米（29年産）	9.8	7.0	4.9	3.4	2.3	1.6	1.1	0.9	0.7	0.6	0.4	
	出荷段階	7.5	5.1	7.6	18.3	19.4	25.3	21.7	18.9	16.9	13.9	11.3	
	30年産米			4.3	16.7	18.4	24.7	21.3	18.7	16.7	13.7	11.2	
	1年古米（29年産）	7.5	5.0	3.3	1.6	0.9	0.6	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	
	販売段階	2.4	2.1	2.2	3.3	2.9	3.0	5.4	5.4	4.7	4.3	3.4	
	30年産米			0.6	1.4	1.6	2.0	4.6	4.7	4.1	3.9	3.1	
	1年古米（29年産）	2.3	2.0	1.6	1.8	1.4	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	
島根	出荷＋販売段階	8.8	6.8	18.5	26.9	26.3	29.7	28.8	26.8	23.5	19.2	15.9	
	30年産米		1.2	15.0	25.2	25.1	28.8	28.1	26.2	23.0	18.9	15.7	
	1年古米（29年産）	8.8	5.6	3.5	1.7	1.2	0.8	0.6	0.5	0.4	0.2	0.2	
	出荷段階	7.5	5.4	16.1	23.0	22.7	26.2	25.5	23.9	20.9	16.5	13.6	
	30年産米		1.1	13.7	22.7	22.6	26.2	25.5	23.9	20.9	16.5	13.6	
	1年古米（29年産）	7.5	4.3	2.4	0.3	0.2					0.0	0.0	
	販売段階	1.3	1.4	2.4	3.9	3.6	3.5	3.3	2.8	2.6	2.7	2.4	
	30年産米		0.1	1.3	2.6	2.5	2.6	2.6	2.3	2.2	2.4	2.1	
	1年古米（29年産）	1.3	1.3	1.1	1.3	1.0	0.8	0.6	0.5	0.3	0.2	0.2	
岡山	出荷＋販売段階	21.4	14.9	19.9	28.5	39.2	40.5	41.5	39.0	35.9	31.8	28.3	
	30年産米			7.7	20.9	34.3	37.4	39.4	37.4	34.8	31.0	27.8	
	1年古米（29年産）	21.3	14.8	12.2	7.5	4.9	3.1	2.1	1.6	1.1	0.8	0.5	
	出荷段階	15.7	10.7	12.5	20.3	30.5	31.7	33.4	31.5	27.4	24.1	21.4	
	30年産米			6.5	18.2	29.7	31.3	33.2	31.3	27.3	24.0	21.4	
	1年古米（29年産）	15.7	10.7	6.0	2.1	0.8	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	
	販売段階	5.6	4.1	7.5	8.2	8.7	8.9	8.1	7.6	8.5	7.6	6.9	
	30年産米			1.2	2.7	4.6	6.1	6.2	6.1	7.5	7.0	6.4	
	1年古米（29年産）	5.6	4.1	6.2	5.5	4.1	2.7	1.9	1.4	1.0	0.7	0.5	
広島	出荷＋販売段階	10.1	6.7	21.3	39.5	38.9	34.4	31.1	27.9	24.1	20.9	17.8	
	30年産米		0.2	17.6	37.6	37.6	33.5	30.4	27.3	23.6	20.6	17.5	
	1年古米（29年産）	9.9	6.2	3.5	1.7	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	
	出荷段階	7.2	4.3	18.3	33.7	33.4	29.4	26.5	23.5	18.8	16.0	13.4	
	30年産米		0.2	16.2	33.6	33.4	29.4	26.5	23.5	18.8	16.0	13.4	
	1年古米（29年産）	7.2	4.1	2.1							0.0		
	販売段階	2.9	2.4	2.9	5.8	5.5	5.0	4.6	4.4	5.3	5.0	4.4	
	30年産米			1.3	4.0	4.2	4.1	3.9	3.8	4.8	4.6	4.1	
	1年古米（29年産）	2.7	2.1	1.4	1.6	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	
山口	出荷＋販売段階	12.0	9.2	18.1	30.0	32.3	32.3	29.5	26.7	23.9	23.7	19.9	
	30年産米		0.6	11.9	25.9	28.8	29.6	27.5	25.1	22.7	22.9	19.4	
	1年古米（29年産）	11.8	8.5	6.2	4.0	3.4	2.6	2.0	1.6	1.2	0.8	0.5	
	出荷段階	10.6	7.9	16.7	25.2	27.8	27.9	26.1	23.6	19.5	20.5	17.6	
	30年産米		0.5	11.4	25.2	27.8	27.9	26.1	23.6	19.5	20.5	17.6	
	1年古米（29年産）	10.6	7.4	5.3	0.1								
	販売段階	1.4	1.4	1.4	4.8	4.5	4.3	3.4	3.0	4.5	3.2	2.3	
	30年産米		0.1	0.5	0.8	1.0	1.7	1.4	1.4	3.2	2.4	1.7	
	1年古米（29年産）	1.2	1.1	0.9	4.0	3.4	2.6	2.0	1.6	1.2	0.8	0.5	

（徳島から佐賀）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	2.7	9.4	12.9	12.3	11.5	10.5	9.3	8.5	7.8	6.0	4.8	
	30年産米		7.5	11.5	11.1	10.5	9.8	8.8	8.0	7.3	5.6	4.5	
	1年古米（29年産）	2.5	1.7	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	
	出荷段階	0.3	5.9	9.0	8.4	7.6	6.8	6.1	5.4	4.2	2.8	2.3	
	30年産米		5.9	9.0	8.4	7.6	6.8	6.1	5.4	4.2	2.8	2.3	
	1年古米（29年産）	0.3									0.0	0.0	
	販売段階	2.4	3.5	3.9	3.9	3.9	3.8	3.3	3.1	3.6	3.1	2.5	
	30年産米		1.6	2.5	2.7	3.0	3.1	2.7	2.6	3.1	2.8	2.2	
	1年古米（29年産）	2.2	1.7	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	
香川	出荷＋販売段階	6.0	5.1	5.8	12.9	18.3	17.0	15.6	14.5	13.3	12.2	10.9	
	30年産米		0.8	3.3	11.5	17.2	16.4	15.1	13.9	13.1	12.1	10.7	
	1年古米（29年産）	6.0	4.2	2.5	1.4	1.0	0.6	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	
	出荷段階	5.0	4.2	5.0	11.7	16.8	15.8	14.6	13.6	12.5	11.3	10.2	
	30年産米		0.7	3.1	11.1	16.7	15.7	14.5	13.5	12.5	11.3	10.2	
	1年古米（29年産）	5.0	3.5	1.8	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1				
	販売段階	1.0	0.9	0.9	1.2	1.5	1.2	0.9	0.8	0.8	0.9	0.6	
	30年産米		0.1	0.2	0.4	0.5	0.6	0.6	0.4	0.6	0.7	0.5	
	1年古米（29年産）	0.9	0.7	0.6	0.9	0.9	0.5	0.3	0.4	0.2	0.1	0.1	
愛媛	出荷＋販売段階	3.4	4.5	7.0	11.5	12.4	11.8	10.5	9.2	8.0	6.5	5.3	
	30年産米		2.5	5.7	10.7	11.8	11.3	10.2	8.9	7.7	6.3	5.1	
	1年古米（29年産）	3.1	1.9	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
	出荷段階	2.9	4.0	6.5	11.0	11.9	11.3	10.1	8.7	7.3	5.9	4.6	
	30年産米		2.3	5.5	10.4	11.4	10.9	9.7	8.5	7.1	5.7	4.4	
	1年古米（29年産）	2.7	1.5	0.9	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	
	販売段階	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7	
	30年産米		0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.7	
	1年古米（29年産）	0.4	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1				0.0	0.0	
高知	出荷＋販売段階	3.6	9.9	9.1	10.4	9.8	8.7	7.7	6.7	5.8	4.8	3.8	
	30年産米	0.6	7.5	7.0	8.8	8.4	7.6	6.8	5.9	5.0	4.1	3.2	
	1年古米（29年産）	2.8	2.2	1.9	1.5	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	
	出荷段階	1.1	5.3	4.8	5.6	5.0	2.2	2.0	1.7	1.5	1.1	0.8	
	30年産米	0.3	4.8	4.5	5.4	4.9	2.1	1.9	1.6	1.4	1.1	0.8	
	1年古米（29年産）	0.6	0.3	0.2	0.1						0.0	0.0	
	販売段階	2.6	4.6	4.3	4.9	4.7	6.5	5.7	5.0	4.3	3.7	3.0	
	30年産米	0.3	2.7	2.6	3.4	3.5	5.5	4.8	4.2	3.6	3.0	2.4	
	1年古米（29年産）	2.2	1.9	1.7	1.4	1.2	1.0	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	
福岡	出荷＋販売段階	17.2	11.5	21.5	39.3	50.9	58.1	59.7	54.1	47.2	40.0	33.2	
	30年産米		1.4	15.3	35.1	47.4	55.3	57.5	52.4	46.0	39.2	32.5	
	1年古米（29年産）	16.8	9.9	5.9	4.1	3.4	2.7	2.1	1.7	1.1	0.8	0.6	
	出荷段階	14.5	8.7	14.3	28.8	40.5	48.3	51.3	46.9	40.5	33.7	28.0	
	30年産米		0.7	9.6	27.0	39.3	47.3	50.6	46.4	40.3	33.6	27.9	
	1年古米（29年産）	14.4	8.0	4.6	1.7	1.2	0.9	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1	
	販売段階	2.7	2.8	7.2	10.6	10.4	9.8	8.4	7.3	6.6	6.3	5.2	
	30年産米		0.8	5.7	8.1	8.1	8.0	7.0	6.1	5.7	5.6	4.6	
	1年古米（29年産）	2.4	1.9	1.3	2.3	2.2	1.7	1.4	1.2	0.9	0.7	0.5	
佐賀	出荷＋販売段階	11.4	8.2	8.2	23.4	31.9	31.9	31.5	30.1	28.1	25.1	21.4	
	30年産米	0.1	1.4	4.2	22.0	30.8	31.2	31.1	29.8	27.8	24.9	21.2	
	1年古米（29年産）	11.1	6.6	3.9	1.4	1.1	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	
	出荷段階	9.8	6.8	7.0	21.0	29.2	29.4	29.4	28.2	26.4	23.1	19.8	
	30年産米		1.3	3.9	20.9	29.2	29.4	29.4	28.2	26.4	23.1	19.8	
	1年古米（29年産）	9.8	5.5	3.0									
	販売段階	1.6	1.3	1.2	2.4	2.7	2.4	2.1	2.0	1.7	2.1	1.6	
	30年産米	0.1	0.1	0.3	1.1	1.6	1.8	1.7	1.6	1.4	1.9	1.4	
	1年古米（29年産）	1.4	1.1	0.9	1.3	1.1	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	

（長崎から沖縄）

（単位：千玄米トン）

		30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	2.6	2.2	2.3	6.2	8.6	9.9	9.9	8.8	7.8	6.5	5.5	
	30年産米		0.6	1.4	5.7	8.2	9.6	9.6	8.7	7.6	6.4	5.4	
	1年古米（29年産）	2.6	1.5	0.9	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	
	出荷段階	2.4	2.0	1.9	5.5	7.8	9.3	9.2	8.4	7.5	6.2	5.2	
	30年産米		0.6	1.2	5.3	7.6	9.1	9.1	8.3	7.4	6.2	5.2	
	1年古米（29年産）	2.4	1.4	0.7	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
	販売段階	0.2	0.2	0.4	0.7	0.8	0.7	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	
	30年産米			0.2	0.4	0.6	0.4	0.5	0.4	0.2	0.3	0.2	
	1年古米（29年産）	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
熊本	出荷＋販売段階	14.4	12.6	11.4	33.2	44.1	46.8	48.8	46.5	42.9	37.4	32.7	
	30年産米	0.1	3.2	5.7	29.9	41.5	44.7	46.9	44.9	41.6	36.3	31.6	
	1年古米（29年産）	14.1	9.3	5.7	3.3	2.6	2.1	1.8	1.5	1.4	1.2	1.1	
	出荷段階	10.1	7.7	7.0	22.1	31.5	34.2	37.6	36.0	31.8	26.5	23.2	
	30年産米		1.5	3.5	21.1	30.6	33.8	37.3	35.7	31.6	26.3	23.0	
	1年古米（29年産）	10.0	6.2	3.4	1.0	0.8	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	
	販売段階	4.3	4.9	4.4	11.1	12.7	12.7	11.2	10.5	11.2	11.0	9.5	
	30年産米		1.6	2.1	8.8	10.9	10.9	9.7	9.2	10.0	9.9	8.6	
	1年古米（29年産）	4.1	3.2	2.3	2.2	1.7	1.8	1.5	1.3	1.2	1.1	0.9	
大分	出荷＋販売段階	7.4	5.9	5.7	11.0	17.7	18.9	18.0	16.7	14.6	12.2	10.6	
	30年産米		0.6	2.4	8.9	16.1	17.7	17.1	16.0	14.0	11.7	10.4	
	1年古米（29年産）	7.2	5.2	3.3	2.0	1.6	1.1	0.9	0.7	0.6	0.4	0.3	
	出荷段階	5.0	3.8	3.5	7.5	12.4	13.1	12.3	11.3	9.9	8.2	7.1	
	30年産米		0.3	1.6	6.7	11.7	12.7	12.0	11.0	9.7	8.0	7.1	
	1年古米（29年産）	4.9	3.4	1.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	
	販売段階	2.3	2.1	2.3	3.5	5.4	5.8	5.6	5.4	4.7	4.0	3.5	
	30年産米		0.3	0.8	2.2	4.3	5.0	5.0	5.0	4.3	3.7	3.3	
	1年古米（29年産）	2.3	1.8	1.5	1.3	1.0	0.7	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	
宮崎	出荷＋販売段階	9.4	5.8	2.6	10.5	11.1	11.8	10.8	9.7	8.2	6.5	4.9	
	30年産米	7.3	4.4	2.0	10.2	10.9	11.7	10.7	9.6	8.2	6.5	4.9	
	1年古米（29年産）	2.1	1.3	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
	出荷段階	7.0	2.8	0.4	8.0	8.9	9.8	8.9	7.9	6.6	4.9	3.5	
	30年産米	5.7	2.2	0.2	7.9	8.9	9.8	8.9	7.9	6.6	4.8	3.5	
	1年古米（29年産）	1.3	0.6	0.2							0.0	0.0	
	販売段階	2.4	3.0	2.2	2.6	2.2	2.0	1.9	1.8	1.6	1.7	1.4	
	30年産米	1.6	2.3	1.8	2.3	2.0	1.9	1.8	1.7	1.5	1.6	1.4	
	1年古米（29年産）	0.8	0.7	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
鹿児島	出荷＋販売段階	6.8	8.6	6.1	15.2	18.8	18.6	17.8	16.4	14.8	12.2	10.5	
	30年産米	1.6	5.0	3.7	13.5	17.5	17.3	16.7	15.4	14.0	11.4	9.9	
	1年古米（29年産）	4.4	2.8	1.8	1.0	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	
	出荷段階	4.4	4.6	2.3	10.8	13.4	13.2	13.0	12.2	11.2	9.1	7.9	
	30年産米	0.6	1.9	0.5	9.5	12.3	12.1	12.0	11.3	10.4	8.4	7.2	
	1年古米（29年産）	3.2	2.1	1.2	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	
	販売段階	2.4	4.0	3.7	4.4	5.4	5.4	4.8	4.2	3.6	3.1	2.7	
	30年産米	1.1	3.1	3.1	4.1	5.2	5.2	4.7	4.1	3.6	3.1	2.6	
	1年古米（29年産）	1.3	0.8	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1		0.0	0.0	
沖縄	出荷＋販売段階	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	
	30年産米	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	
	1年古米（29年産）												
	出荷段階	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2		0.0	0.0	
	30年産米	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2		0.0	0.0	
	1年古米（29年産）												
	販売段階	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1					0.0	0.0	
	30年産米	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1					0.0	0.0	
	1年古米（29年産）												